原稿用紙３枚以内掌編小説

コミュニケーション２

Communication 2

父子シリーズ-4

Daddy, Son series -4

うときゅういっき

by Khazu san

物書き

うときゅういっき

目次

●序 芭蕉に倣う

●本編 掌編小説 1「外野ラガーが申すには」

●本編 掌編小説 2「そぅいぅのもぅ、止めた方が良くない？」

●本編 掌編小説 3「ムスコさん、オヤジが「お世辞」、言う迄に」

●本編 掌編小説 4「謎が謎呼ぶ座右の迷、惑」

●本編 掌編小説 5「新 うつ病ドロンパッ読本」

●本編 掌編小説 6「一人忖度？」

●本編 掌編小説 7「霧の彼方で燻る焚火？」

●本編 掌編小説 8「肩書ゾンビ」

●本編 掌編小説 9「却って逆効果。なので、正々堂々珍多羅漫多羅」

●本編 掌編小説 10「こうやると微笑めます」

●本編 掌編小説 11「世の中の効率」

●本編 掌編小説 12「話変わるけど、なんか俺もつまんない。なんで？」

●本編 掌編小説 13「大先生、アンタ、型の魔力に負けたんだよ」

●本編 掌編小説 14「ペダル踏めども前行かず。

初めちょろちょろ中ぱっぱ。

その内いい事あるかもね」

●本編 掌編小説 15「続 新うつ病ドロンパッ読本」

●本編 掌編小説 16「何、家だけ違ってた！」

●本編 掌編小説 17「これからの世の新習い」

●本編 掌編小説 18「金は天下に回すもの」

●本編 掌編小説 19「サバイバル・スピリット」

●本編 掌編小説 20「あの手この手、で」

●著者プロフィール

序

2022/8/30

芭蕉に倣う（第二ラウンドもこの序で）

かなり以前、
人にものを伝える表現形式としては、口承伝播性（口にし易さ）、読者想像範囲の広範度からして
「芭蕉の俳句が手本。このコンセプトを活かし、今少しガイド的な言葉添えをした新しい表現形式が出来ないものか？」
みたいな事を書きました。
なのに、一向にそれが出来ない。
例えば
直近記事「見当違いで逆効果」
の中で、
「人は思っている以上に遥かに優れた想像力がある。
高いアンテナとレーダーを備えている。
アンテナやレーダー感度がこちら側の想像以上に高い多くの方々からみれば「何も言わなくても見ればわかる（感じる）」ので、それだけで十分なのに、それ以上敢えて口にしたり

パフォーマンスしたりした時点で完全に「過多」「過剰」「嫌味」「これ見よがし」としてしか捉えられていない事に気付いていなかったのです。
記憶や印象に残してもらいたいがためにしている行為が、却って記憶や印象に残す事への「拒否反応」を起こさせてしまっている」
しかし是も
昔のある芸人さんのギャグフレーズ
「んもぅ、言わなくてもいいのに、言うんだもんなぁ」
を使えば他の文言は一斉不要だった。
伝えたい事を表すのに自分の場合原稿箋３枚を要していたのもたった２行で十分だった。
で、今回その反省も踏まえ訓練がてら掌編小説を原稿箋３枚以内で書き表すトライアルを始める事に致しました。

本編

2022/10/28

「外野ラガーが申すには」

「参考手習いは自然界とスポーツの中にある。だが「人の世は精々流転変わるとも常に変わらぬ大自然」と言っていたその自然すら怪しくなりつつある昨今。
となると是迄の経験則が役に立たなくなるケースも出てくる。
最早「手習いなき世界に突入しつつ有る」の感、是在りだわ」
「何？最近の温暖化気候変動とか異常気象の事？」
「ん、だ」
「じゃぁ、もう片方のスポーツは？オヤジの言う手本が二つだけだったとしての話だけど」
「スポーツはまだいろんな面で参考になる。スポーツ界ではなくてスポーツが、だ。要するお金絡みを抜いて、と言う意味」
「確かにスポーツ界、芸能界、政財界って可成り泥臭いもんね。スポットライト大好き人間達」
「この際「スポットライト命」病患者は放っておき。話ややこしぃなるから」
「じゃ、スポーツの何が参考になるの？例えばどんなスポーツ？」
「スポーツは総じて「身の置き方と処し方」即ち「構え」を教えてくれる気がするが、具体例を思いつく儘に言うと、相撲の四股、足腰の重心落し。野球のタイミング、合わせ方。合気道や柔道の相手の力の利用、返しやはぐらかし。古武術の糊しろ残し、貯め」
「何かもっと今風なスポーツ出てこないの？野球以外に」

「あるある大事典」
「大人だし、スマホの時代なのに、まだテレビっ子やってん、だね」
「遺伝子に組み込まれているから仕方あるまい。それにパソコン、スマホは仕事用、テレビは娯楽用って、昔ながらの感覚がどうしてもぬけないのかも、な」
「現代はパソコン、スマホでゲーム「娯楽」が主流でしょうに」
「俺は「ながらスマホ」とゲームが大嫌い」
「なんで？」
「鬱陶しいから。周り全然、見えてないし」
「あ、そ」
「じゃぁ、今風で、屋外でダイナミックなスポーツの例をこれから挙げよう」
「何？」
「ラグビー」
「少し今風ね」
「俺は直近のｅスポーツとかの屋内系、電子系があんまり好きじゃないから、やや今風のラグビーにとどめておくわ」
「ホント、屁理屈、能書、セグメンテーション多いよね」
「男は屁理屈、女は屁我慢」
「追加で、圧倒的にイマイチなオヤジギャグ」
「で、ラグビーの話。よくラグビーで、スクラムで押し込むとか中央突破で一気に独走の上、トライとかあるけど、俺はスクラムからトス受けて、横展開パスリレーでかわし続けて回り込み、最後、小兵が脇からトライ決める処が好きなの」
「何処がいいのよ」
「前者はガチンコだけど後者はいなし、かわし、はぐらかし。一言でいうと弱者の兵法っぽい処」
「あらららら、確かにオヤジ「顔は強面、力は弱者」だよね。軟弱且つヘッピリ腰」
「ヘッピリ腰じゃなくて真っ当な腰落とし」
「それ、今言ったはぐらかしの一種？」
「お流れ頂戴の上 I have a question, OK?」
「どんぞ」
「何故タッチダウンをトライって言うんだ？トライって「試す」だろ？タッチダウンした後、何試すのよ、え？」
「Try is try。そんだけ。分った？外野ラガー君」

（注）
本文中「強面」は「きょうめん」ではなく「こわもて」とお読みくださいませ。

●2022/10/28 本日のオマケ記事
2022/10/28-2
（オマケの英語教室 trace）

今日も又、ですが本編中で「手本」と書こうかどうか迷った箇所があり、矢張り「手本」だとちょっと強すぎると感じたので「手習い」（その個所では参考手習いと書きましたが）と書き改めました。
手習いは、自分の中では「書写本」即ち「お手本通りに書き写しをする」イメージでした。
確かに其れもどうかと思いましたが、結局皆様がお読みになられた時に感じるであろう「手本」と言う言葉が醸し出す「押し付けがましさ」を避けるために、あまり納得はしなかったのですが「手習い」と言う方を採用いたしました。
処でこの「手習い」英訳しますと、ジャストではありませんが trace(原本のなぞり書き。動詞は「なぞる」）
敢えてそれを持ち出したのは、実はその言葉に一つの思い出があるからです。
その話とは、自分が若い頃付き合っていた彼女がトレースのアルバイトをしていて、その折どう考えても原本の設計図そのものが間違いである箇所に気付き、上司に相談したところ、その上司は
「お客さんから渡されたものの通りにしろ。余計な事はするな」と言われ、煩悶の末高額なアルバイトを自ら辞したという話で、５０年近くたった今、その話を思い出しまして、何故か結構熱い気持ちになりました。
その娘を好きになった理由は到底特定などできませんが、それに加えて更にこの時に感じた「へぇ」がその気持ちを深めさせ「絶対何があってもこいつだけは守ってやろう」と顔を上気させた記憶があります。
「昔は二十歳そこそこでも、そして貧しくてもサムライな娘がいたんだなぁ」
ととても懐かしい気持ちになりました。
当然今もいるのでしょうが、５年程前に話をした高校生アルバイトの女の子一人を除いては、此処５年程そういった方に、久しくお目にかかっておりません。
Main aim of tracing work is not to trace merely but to check for mistake finding out, also I think She said.

本編

2022/10/29

「そぅいぅのもぅ、

止めた方が良くない？」

「よくさ、子供が不祥事起こしたからって突レポ軍団がワンサカ群れ成して芸能人の親の処に押し掛けるの、あるでしょ。そしてマイク突きつけて「この件についてどう責任お取りになるんですか？」さぁ言え、白状しろ、テメェ、みたいな。一同無言ベースで付和雷同して「そうだ、そうだ、全くだ」ってテレビカメラの前で吊し上げ大会始めたりするの。あれって、なんぞ、おかしぃない？」
「何が？子が不祥事犯して親が責任取るの、当り前でしょ」
「子供ってたってもう30歳過ぎてるんだよ。だったら何で子供本人の処に突撃しないのよ。だってもう20歳以上なんだから公民権あって、独立した個人でしょうに」
「でも、一般的には親の処に行くよね、皆。それで別に違和感、感じないし」
「俺は自分が親のせいかもしれんが、もぅ子供が20歳過ぎたら親の処に来るの、勘弁してよっていう気がするんだよな。世間様は「いい加減子離れしろ、親離れしろ」っていう割には逆の事、やってるんだよな。子が悪い事して親が吊るし上がってんじゃ、子は甘えて育たなくなるし、親だって子がその歳になって迄自分が吊し上げられるとなると、子供の行動や振舞いを常に監視しておかないとヤバいって事にもなりゃせんのかね？」
「オヤジの意見ていつも一理はあるんだけど、なんかイマイチ違和感あるんだよな。「正し

いのかもしれないが、実行に移すにはちょっと無理があるんじゃないの？」みたいな」
「そうなの？」
「処が俺はそこでストップするのに、オヤジは皆が二の足を踏んじゃうそれを平気でやっちゃうから変な目でみられるんじゃない？世間様から。それとオヤジの意見に対してもう少し実利的な事を言えば、殆ど一般人の生活してる無名の子供の処に突撃したって視聴率取れないでしょ。芸能人の親の処に突撃するから銭になるんでしょ？その位分ってよ。オヤジだって、もういい加減立派な大人なんだから、経験年数の少ない子供に言われる前に」
「それにしても、不祥事しでかしたなら兎も角、ちょっとした些細な事であぁ迄逐一、公衆の面前で吊し上げられるんじゃ完璧ビビりまくりで「もう何も、言えない、出せない、屁もこけない mode」になっちゃう気、するけどね。ズバリ「見えないロープ掛けた公開処刑」の生中継ちゃう、あれって。俺にはそうとしか見えん、のやけどね。自分がその立場になった時の事、少しでも想像すれば誰でもすぐに分る事だと思うんだけど。芸能人は好きじゃないけど、あぁ迄されると「明日は我が身」もあって、そぅいぅのもぅ、止めた方が良くない？って」
「有名税だから仕方ないんじゃないの？」
「でも、最近は無名の人にまで被害、広がってるでしょ。有名でもないのに有名税、強制徴収。払わねば市中引回しの上、獄門磔け、基。差押え没収とか」
「そういえばこの前、家賃払えなんだ、言ぅてたけど、そろそろ近いの？差押えのＸデー」
「う」

●2022/10/29 本日のオマケ記事
2022/10/29-2
（オマケの英語教室 report）

「突レポ」この略の元は「突撃レポート（レポーター）」
レポーターはレポートするに人の事ですが、では report の原義は何なのでしょう？
今日明日で 10 月度も締まるのですが、上がらないお店の売上に目くじら立てても疲れるだけなので、此処は一番、開店前のひと時、お店事務室で例の息抜き、をば、一席。
では、早速 report という英単語を分解してみましょう。
曰く
Re + port。
Re は「再び」とか「繰り返し」とか「戻る」の意です。
Port はと言うと「港」です。
なので、report の原義は「再び、繰り返して、港に戻る」のイメージとなりそうです。
では、なぜそれがレポートなのか？
船が港から出て内海又は外洋を周り再び港に戻ってきた。
廻った際に集めてきた情報や積んでいた荷物の売り上げ状況、又は積んでいなかった荷物の補完、仕入状況を船主に「報告した」から report と言うのではなかろうか？と。
The primitive image of the word “Report” might be from that crews informed to their bosses(ship owners) concerning to abroad info or numbers of sales amount etc. after each cruising (shipping and trading).

本編

2022/10/30

「本日ムスコさん、

オヤジが「お世辞」、

言う迄に」

「我が国の学校では「適格適語」が良いとされ職場では「適格適語」に加えて「適材適所」も良しとされてる」
「いいんじゃないの？何、其れにもケチつけよって訳？愈々本格的イチャモン之介になってきたね」
「まぁ聞け。適材適所、是はまぁよかろぅ。
しかし「適格適語」
是を余りに理想とするとその強い副作用が出る事に気付いたんだ」
「何？抗体が強すぎてコロナ・ワクチン打つとアナフィラ・ショック起こしちゃうから打て

ないっていうオヤジの体質話、してんの？」
「ちゃいま。日本語と英語の話よ。日本人は「適格適語」を求める。一種其れが美学、美意識だ。一方外国人にはそれが美とも何とも映らず、只「不寛容」としか感じていない。適格適語を求めれば求めるほど、不寛容に感じる度合が増していくっていう副作用が生まれている、っていうお話」
「日本語は厳密で「一事象に付き一語」英語はフレキシブルで「一語をその場その場の状況に応じて千変万化に使いまわし」の差の事、言ってんでしょ」
「お前、近頃かなりパワーアップしてんなぁ」
「何？今度は褒め言葉による懐柔策？それとも褒め殺し？」
「スキルはパワーアップ、マインドはレベルダウンや、な」
「それでこそ、オヤジらしい。オヤジに褒められるとキモイから止めてチョ」
「肝いりがキモイ？」
「ウナギの肝吸い」
「「ウナギの」と「吸」取ればいいの？意味としては」
「そぅ、端的に言って「肝」「い」でキモイ。正解」
「兎に角だ、外国人への日本語教育も日本人への英語教育もこの公理を先ず前提にしないとすべてが徒労に終わるような気がする」
「外国人への日本語学習にも、日本人への英語学習にももっと「ラフ」「ルーズ」「ブロード」「寛容」になれって事でしょ。外国人に一事象に付き一語を強いるのは酷。日本人に日本語と同じく一事象に付き一語の英語が存在すると思わせる事自体が認識の過りでハツカネズミが如く空転空回りの無駄で酷」
「お世辞抜きで、マジ、レベルアップしとぅわ」
「だから、褒めんなって言ってるでしょうに」
「すべては同じものの表裏なのよ」
「逃げたな」
「適格適語は反面不寛容。寛容は反面ゆるフン。褒めは反面白旗。白旗は反面負けるが勝ち。何事も同じものの二側面。その混合度合でどちらが優勢かの話でしかないのよ。全ては比率の話でしかないの。完璧完全是もなし。完 100 完 0 幻想よ」
「幻想って覚めると後がつらいのよね。だから今晩一緒に食う約束の牛もつ鍋ニラてんこ盛バージョン。あれが幻想だと言われると可成りメゲルよ、俺」
「牛じゃなくて豚シロモツじゃダメ？似たようなもんでしょ」
「この場合は適格適語の just でお願いしマッス」
「今日だけは寛容モードの flexible でお願い、ね。ダメ？」
「やっぱ、オヤジの男芸者モード、メッチャ、キモイからやめてチョ」
「豚の腸（チョ）がシロモツやけど、その「チョ」じゃ、アカン？」
「ダァメッ」

●2022/10/30 本日のオマケ記事
2022/10/30-2
（オマケの英語教室 Manzai performance?）

面白い仕草や冗談ばかり言っている人の事を
He is a comedian
「奴はコメディアンだ」
と外国人が言うのを何度か耳にしましたが、何かちょっと違和感を覚えました。
多分自分は「お笑い」「掛け合い漫才」「ボケと突っ込み」みたいなものを無意識に頭に描いたからだと思います。
じゃぁ、それを英語に言い換えるとなんといえばいいのか？
是には困ってしまいました。
譬えるものが見つからないからです。
先ず、comedian の元は comedy です。和訳は喜劇。反対語は tragedy で悲劇。
この一対和訳のセットは恐らく「悲喜こもごも」から割り当てられているような気がしますと推測するのも、自分の記憶によれば、我が国ではどんなに悲惨な事がらに対しても「悲劇」という謂い方はしていなかったような気がするからです。「●●の悲劇」という謂い方はテレビのワイド番組が始まって以降の様な気がします。
つまり古来我が国では喜劇とか悲劇とかいった自分の感覚で言えば「かなり御大層な」概念がなかったような気がするわけです。
なので、comedy とか喜劇とか耳にすると「余りに概念が大き過ぎ」て「お笑い」とか「掛け合い」「ボケと突っ込み」みたいなものが取り零されてしまっているような気がして違和感を覚えるのかもしれません。

（いつもはもっと大らかにと言っているのに対し今回ばかりは英語の方があまりにも漠とし過ぎている気がします（too much broad, I feel)）
しかしこのニュアンスの差をどう英語で伝えればいいのか？
今のところその解はみつかっておりません。
それでやむなく現時点では、是を一纏めにして Manzai performance と訳しております。
それにしてもその先、更に個別「お笑い」「掛け合い」「ボケと突っ込み」にまでなるともう完全に途方に暮れてしまっております。それこそ「適格適語」の英訳。

（追記）
「悲劇=tragedy」などと言う珍しい英単語を何故知っていたかと言えば、学生の頃に読んだ太宰治の小説の中で「その名詞が悲劇を感じさせるものか喜劇っぽいものかをフランス語の男性名詞、女性名詞みたいにつけてみる遊び」の件（くだり）があり「その際喜劇名詞をコメ（comedy から）悲劇名詞をトラ(tragedy から)と名付ける事にしよう」としていたのをおぼえていたからです。
そんな eventual な事でもなければ、到底こんな英単語、知る由もありませんでした。
逆に言えば何かのイベントや印象、感想を絡めて覚えると結構学習が捗る様な気も致しております。

本編

2022/10/31

「謎が謎呼ぶ座右の迷、惑」

「あれダメ、これダメ。じゃぁ、どうせぃ言ぅんや、いい加減にせんかい。このタコどもがぁ。家入っていきなりどれだけホコリ溜まってるか指で擦ってチェックする様な真似ばっかしゃぁがって。洗面器の中の蟹みたぁにカサコソうっせぇからカニ壺にでも入ってろ、ってんだ。江戸っ子は、気ぃ短じけぇんだ。おととい来やがれ、このスットコドッコイが」
「あれ、吠えるのはいつもの事だけど、いつの間に江戸っ子になったの？今迄にないパターンじゃない？人気繋ぎの「飽きない」施策？」
「「飽きない」じゃなくて俺がやってるのは「商い」」
「じゃ、何で突然江戸弁出たの？今迄の明石家さんまの関西弁、よかにせドンの九州弁「北の国から」の田中邦衛弁ずる処の北海道弁迄は聞いた事あるけど」
「この前、頭の中に TV 時代劇の大久保彦左と一心太助の会話が出てきたから、ちょっと使ってみようかなぁって思っただけよ」
「え、そんだけ？それだけで、そうしちゃうの？言語に対する自己同一性 identity ってオヤジの場合皆無なの？」
「生まれがそこだから生まれた処の言葉、一生喋らなくちゃいかん言う決まりはなかろぅも。期に際し、場に応じて、その時ジャストな言葉使えばいいだけやと俺は思ぅとる。第一、色んなお国言葉喋れたら直ぐその土地の人と仲良ぅなれるし、まずもって何より自分自身、

色んなキャラ、楽しめて happy になれるやんかぁ。限られた時間の有効活用ゃで」
「この人、多重人格だとか怪人二十面相みたいに得体のしれない怪しい奴だとか疑われる危険性の方が遥かに大だと思うけどね、俺は。長年この国に暮らしてみて」
「義理と人情、秤に掛けりゃ、義理が重たい世の中だ、に近い話や、な。言い換えれば「好みと体裁、秤に掛けりゃ、メンツが重たい世の中だ、って訳だろ」
「言い方がイヤミねぇ」
「じゃぁ、あの子とこの子、秤に掛けりゃ、両方やりたい、私です、じゃどぅ？」
「そりゃ、犯罪でしょ。そこ迄いかずともどう考えたって道義的に問題、あるでしょう」
「冗談だよ、冗談。確かに守らにゃいかんものはある。交通規則とかマナーとかルールとかは、な。でも基本的な処以外はある程度ブロードでいいんじゃねぇの？「おとっつぁん、お粥が出来たわよ」のシャボン玉ホリデーが大好きだったおとっつぁんこと、此のオヤジはそう思うがね」
「オヤジって時空超えてワープしまくりだよね。言葉にせよ時代設定にせよ。何処に居るのかよぅ分らんわ」
「あ、そ。「参ったタヌキは目で分かる」のよ、俺」
「ナニソレ？なんで突然、狸がでてくるのよ」
「是は昔流行ったコント 55 号の決め文句よ。欽ちゃんの相方、坂上二郎がタヌキに似てたから。お前もその位直ぐにピント来る様、少し我が国の芸能史を勉強せぇや」
「何を尊んでいるかの基準も、謎」
「当意即妙、座右の銘。気持ちに従い、出たとこ勝負。
出たる結果は引受ける」
「?で?で?謎が謎呼ぶ座右の迷、惑だわ」

（注）
題名アタマと本編お尻の「謎が謎呼ぶ」は昭和？の人気テレビドラマ「寺内貫太郎一家」の中で樹木希林と郷ひろみがデュエットで歌っていた曲の一節「謎が謎呼ぶ殺人事件」のフレーズからとりました。
当方に著作権はございませんので、一応お知らせ迄。
（注２）
本書英語題名は
Mystery calls mystery because of his motto like a UFO

●2022/10/31 本日のオマケ記事
2022/10/31-2
（オマケの英語教室 humor vs Owarai）

前作のオマケ記事の続きみたいになって恐縮なのですが、どうも気になって。
先ず、前作的に申せば
Comedian とお笑い芸人がどうも一対訳にならない。
もっと広く言えば artist と芸人が一緒にならない。
で、今回は追加で
Humor とお笑いも同じイメージとして重ならない。
何が違うのか？
根本的に違う気がするんです。
でも、何が違うのか？
文化論とか芸術論とか、そんな難しい話ではなくて単に一般ピープル的に合わない、どころか全然別物の気がしてならない。
さて、何が違うのか？
先ず humor が個人（芸？技？）であるのに対してお笑いは大体が二人以上。
なので後者は掛け合い主体で、メインは「ボケと突っ込み」
Humor は個人芸（？）なので掛け合いもボケと突っ込みもない。
Humor はフランス語の、ジャストではありませんが espri に近い。Espri を邦訳では「機知」と訳しております。何かドンドン高級感が増していきます。
一方お笑いは何かもっと「泥臭い」悪い言い方をすれば「ドン臭い」
何となく下方修正的なイメージが付きまといます。
そういえば comedian の邦訳は喜劇「役者」です。「役者」と「芸人」
此処でも何か差がついてしまう感じです。
しかもそれに「お笑い」が付くと、テレビの中でお笑い芸人自らの自虐ネタ「お笑いは裏

の専用口からスタジオ入りしてくださいとか別枠扱いされてるんですわ。テレビ局の社食で食う時も、周りに縄張られて。ほんまでっせ、是。日本国憲法、法の平等、お笑いだけは治外法権、長崎の出島状態でっせ、ホンマの話」の様に更に下方修正ムードが漂ってきます。
Humor-espri-artist ラインとお笑い-ドンクサ-芸人ライン。
オマール海老の冷製とどじょう鍋くらい違う。サーモンのカルパッチョ単品とモツ煮込み定食、次回ライス大盛無料券付き程もイメージがかけ離れている。
さても、さてさて、両国人の胃袋を満たすにはどうしたらいいものか？困ったもんです、本当の処。

本編

2022/10/31-4-2

「新　うつ病ドロンパッ読本」

「以前、どうやってうつ病から立直ったのかってお前訊いたよな。色々説明したが今一つ分ってない様に見えた。頭じゃ分ったけど腑に迄は落ちてない。頭が分っても腑に迄落ちないと意味がない。だから今日は別の譬えで話そうと思った」
「リベンジ？確かに俺、この前の、全部忘れてるからそうなんだろうね」
「今日は茶化しを入れないで幾らか真面目に話そうと思う。この大変な世の中でお前がうつ病になるかもしれんし、なったらちゃんと寛解して欲しいから真面目に話そうと思ったんだ。後、俺は未だに再発を心配している。だから再発しない様に地保固めもしたいからな」
「確かに今日はお茶らけなしでチト戸惑うけど俺もちゃんと聞くよ」
「じゃ。
上から落ちた。
途中で引っ掛かった。
早く元に戻ろうとして、焦りから手掛や、足場を失った。
又落ちた。
何度もそれを繰返して到頭どん底迄落ちた。
這上がる事しか考えなかった頭が暫く空いた。
どん底にその下はないから一寸気が緩んだ。
緩んだせいで今迄自分の脳がどれだけカチンカチンだったかと言う事が分った。すると今迄にない感情が芽生えた。

「もう、うんざり」を声に出せた。「いい加減、嫌になった。元々そぅ戻りたい処でもない。死ぬ思いで帰還しても嬉しくない。皆の目があるから戻ろうとしてるだけなら、やめよう、になった」
「やめたらずっとどん底暮らしなんじゃないの？」
「まぁ、其れでもいい様な気もしたよ。どうぞご勝手に、って思った」
「開き直ったって事？」
「ちと違う。捨てちゃったの、自分。今迄の自分。大したもんじゃないから」
「今迄？大した？」
「皆に「いいよ」って言われていた自分。「そうなれよ」って言ってんだろうな、に忖度した自分」
「で、後は？」
「出口の穴は上だけじゃないよな、って思って無意識に他に思いを巡らした」
「で、あったの？別の出口」
「ヒントの薄明りが差した。「戻らなくちゃ」じゃなくて全く別の方から。嫌じゃない方から。すると目先が変わった途端、周りの壁が消えて、穴じゃなくなった。視界がパッと開けて明るくなった、唐突に。今迄のぐちゃぐちゃが、奇麗さっぱり消えてた。瓢箪から駒。嘘みたいだった。ひどく遠く思えた。逆にもう今迄を思い出せなかった」
「へぇ」
「「選ばれよう」じゃなく「選ぶ」。自分が、相手や対象を」
「そこが変わると景色が全部様変わりするのかぁ」
「だからお前も皆が「いい」という事より、人の評価を得易い自分が得意な事よりも、「好き」か「嫌じゃない」を見つけなよ。「自分の好き」に他人も、資格も、才能も関係ない。「常に自分があるじ」で居られる。人の「好き」を連中はいじれない。罹患したら、なまじ中途半端に回復する方が却って長引く。踏ん切りが付かんからだ。踏ん切るには一気にどん底迄落ちた方がいい。「あそこ迄」を見上げた時に感じる「うんざり感」が投げやりの「緩み」産んで、後は俺に同じよ」

●2022/10/31-4 本日のオマケ記事
2022/10/31-5
（オマケの英語教室 melancholia）

うつ病って英語で melancholia と言うらしいのですが、聞いた感じ、どうもイマイチリアリティが感じられません。学名らしいのですが、まるで実感がわいてこなし、かけはなれている気がします。
恐らくこの語の音韻の中に濁音が一つも含まれていないからだと思います。
自分が経験したうつ病から得たイメージは濁音だらけのぐちゃぐちゃ、ぎゅうぎゅうだったからです。後、破裂音のぱんぱん。要するにフラットな清音ではなかったわけです。
なので、うつ病を自分が英訳するとすれば
Mind pressed down mood
とか
Jammed mind mode
とかの息苦しさや微熱を帯びた鬱陶しく、暑苦しい感じの表現になりそうです。
勿論医学用語ではありません。ドラッグストアの特売対象にしてもよさそうな医薬部外品みたいなもんです。
いつもながら、悪しからず。

本編

2022/11/1

「一人忖度？」

「われわれ日本人はともすると言われもしないのに「一人忖度」やら「一人取下げ」「一人、勝手に自重自粛」いや、「自重自縮」しちゃぅしょ。何かする前、言う前からそれじゃぁ、あかん様な気ぃがするが。少なくも最低限何かしたり、言ったりしないと「腹、膨るるぅ事、此上なし」になって、その内ブチ切れて大爆発する羽目になってまぅでぇ」
「今日はガス会社の出張社員な訳？ガス点検しに来た」
「へ、入館証、持って、ま」
「ぅんるさいから、ちゃんと見せて、事前に」
「ぅんなもん、ある訳ないやぁん、アホ」
「で、何、その先、本意と「そのこころは」、は」
「コロナに物価高にミサイルの恐怖だの雇止めだの解雇だの、色々あるのは分るが、どうもそれだけじゃない様な気ぃがすんのよね。此の元気のなさは」
「何言ってんのよ。それだけあれば十分じゃないのよ、萎（しぼ）むには」
「そぅ、将に萎んじゃってんのよ。一方じゃ、圧がかかれば等価反発力が生まれるのが科学の法則でもあるんだが、そういうのがなくてイキナリ萎んじゃってるからどうなのかなぁって。科学の法則が正しければ等価反発力が加圧を超えて、溜まったガスが大爆発するだろうし、既存の法則が当て嵌まらん何かが在るねぇやったら、其れ見つけんとあかんやぁろうし」

「爆発するのはガス抜きの穴がないからでしょ？萎むのはどこかにもう穴が開いていて既に空気、抜けちゃってる訳でしょ？今は大抵その折衷案で、小さな針の穴から小出しに「空気」抜きしてるのが一般的じゃないの？目に留まりにくい意地悪とか煽りとかチコッとシカトとかで「息」抜き＆「ガス」抜き」
「何、お前、そういう経験ある訳？したとか、されたとか」
「したのはないけど、された事は結構あるかな？身近な奴からじゃなくて、直接の利害関係が発生しにくい、知らん第三者からが圧倒的に多かったけど。例えば行きずりだったり、レジ待ちの時だったり、電車やバスの降り際だった様な場合にね。行きがけの駄賃、じゃなくてイタチの最後っ屁的？この世の恥は掻き捨て的？どっちかな？」
「意味は分かるからどっちでもえぇ」
「ある種是は一般ピーポーの生活の知恵なのよね、良い方に解釈すれば。でも実際にはかなり陰険。いじめだと刑法に引っ掛かるから処罰受けない意地悪に徹してる訳よ。結構、計算高いから陰険だとも思うのよね」
「だったら直接の利害関係者に大口開けて思いの丈、吐露しちゃえばいいのにねぇ」
「その結果、オヤジみたいな結末になる事をみんな怖れている訳よ」
「俺の結末って、ナンソレ？」
「ヨメに逃げられ、893 同然に見られ、「アブナイ刑事（デカ）」扱いされてる姿」
「何？そんな事になってんの、今、俺？」
「知らぬは本人ばかり也、ナンチャラ蛇に怖じず、知らぬが仏の極楽とんぼ生活満喫してるんだから♬いいじゃ、ないのぉ、し、あ、わ、せぇえ、ならばぁ♬」
「誰やっけかぁ？歌手」
「I don`t know ぉ〜」

（注）
「忖度」には、一歩身を引いた真の目的の中に「ご機嫌伺」とか「ご機嫌を損ねたくない」と言う含意がありますが、此処では後者の「相手の不興を買いたくない」位の、やゃ「謙虚で可愛らしい」心情を含んだ意味で使っております。
その為、完全な「忖度」とも言い切れないので、敢えて「？」を最後に付加致しました。

●2022/11/1 本日のオマケ記事
2022/11/1-2
（オマケの英語教室 Samurai manner? Is it true?）

「自重自粛」を英語で何と言うか？
当然そんな単語、知る訳もありません。
いかんせん中学レベルの知識では。
しかし、諦める気も致しません。
負けん気、強いですから。
で、トライしてみました。
結果、訳したのが
Self-stepping-back and hiding by myself
（自ら引き下がり自分から隠れる事）
でした。
是に
Although non their pushing
を付けて
Self-stepping-back and hiding by myself although non their pushing
（言われもしないのに、自ら引き下がり自分から隠れる事）
勿論意味はジャストではありません。
特に後者の訳はどちらかと言うと我が国で蔓延している「忖度」の英訳の様な気もします。
「忖度」には手もみゴマすりをイメージさせる「ご機嫌伺」の意味がありますが、そこ迄は行っておりませんので「忖度」そのものには当たりません。
但し「相手の不興を買わないように」や「ご機嫌を損じないように」の意味もあり、ご機嫌伺の元になっている「不遇」や「処罰」「干される」事を恐れての事であるのは同じだと言えそうです。
イヤミに聞こえていたら、ごめんなさい。

（注）
題名の manner にあたるところは behavior にしたいところでしたが、余り馴染みのない英単語だったので一般的に流布している manner を採用いたしました。
Samurai way でもよかったかもしれませんが、其れだと武士道みたいな意味合いに取られそうなので止めました。そこ迄大それた話でもありませんので。

本編

2022/11/2

「霧の彼方で燻る焚火？」

「オヤジって、毎日あれこれ色々ブツクサ言ってるけど、何でそう次から次へと色々言う訳？」
「溜まってんのよ、37 年間もサラリーマンやってたから」
「でも、ヨイショタイプじゃなかったんだから其れはそれなりに色々吠えてたんでしょ？上とかお客さんにも。それでもまだ不完全咆哮だったって言うの？それって、ちと too much 我儘なんじゃないの、世間一般からすれば」
「何でそこに対世間一般比較が出んの、よ？いつも言ってるでしょ、其れはそれ、是は是、じゃなくて、あちらはあちら、こちらはこちら、って」
「あんまり、あちらはあちら、こちらはこちらって遣り過ぎると今、世界中で起こってるのと同じ「分断」が起きちゃうよ、世間様との」
「お前、歳の割には爺むさい事、言うよね」
「俺はオヤジみたいに脳天気になれないから」
「陰では言っても表立って親の事、脳天気ってあからさまにいう家庭も珍しくない？家庭内においてすら潜水艦生活している昨今に於いて」
「流石に潜ったまま地球一周生活はヤだから。未だ俺の場合」
「そういえば、今、出た「世界」「分断」「地球」の 3 キーワードで思い出したが、結局今の

サプライチェーンとか、グローバル化とか、階層或いは格差による階層の「分断」とかの元は露骨に剝きだした「自己都合優先」にある様な気がしてならんのよ。しかし是はまだ第一段階で、その内、世にも恐ろしい第二段階がやってくるんじゃないかとヒヤヒヤしてるんだが」
「オヤジの場合、大騒ぎの割には「大山鳴動ネズミ一匹」的「杞憂」が多いんだけど、今日のそのヒヤヒヤを感じた「第一段階」とか「第二段階」って何の段階なの？又また例によって唐突過ぎてよく分かんないんだけど」
「あらま、私とした事が。めんご、めんご」
「えらまた、恐竜時代に迄遡る様な化石級トークだね」
「そう、恐竜よ。詰り「第一段階」って人間界における争いよる「分断」なんだけど、その次に起こる「第二段階」って、今度は、その「人間界全体」と「地球」との間に起こる「分断」の事なのよ、俺がヒヤヒヤしてるのは。もっと言うと「人間界の自己都合最優先」と「人間の思惑や自己都合とは全く関係ない物事の自律的メカニズムで動いている地球」との間の乖離がどんどん進んでいって取り返しの付かない事になるんじゃないかって心配してんの。その結果「人間」も「絶滅恐竜」と同じ運命を辿るんじゃなかろうかって。一言でいうと「適者生存候補を切り分ける淘汰の刀でバッサリやられる可能性」大って事よ」
「何かスケールだけは気宇壮大だけどイマイチ酸素不足で不完全燃焼気味だなぁ。今の俺が抱えてる個別問題に対して、霧の彼方で燻る焚火にしか思えないんだけど」
「斯くして又、歴史は繰返す。イヤ、繰返すその歴史、この先もうないかも。金、肩書、名誉。動植物にない人間特有の其れのせいで、全部を道連れ、に」
「怖い。けど、俺にはどうも出来ない」

●2022/11/2 本日のオマケ記事
2022/11/ 2 -2
（オマケの英語教室 covered firing? Is it true?）

焚火と言われたら直ぐに思い浮かべるのは何と言っても子供の頃よくやった、焼き芋を焼く為の落ち葉焚きです。神社の境内とか友達の家の裏庭で秋が深まってくるとよくやりました。
では本書お題の中にもある、その「焚火」を英語で何と言うか？
当然そんな単語、知る由もありません。
が、諦める気もしません。
それで何とか訳したのが
Firing covered by dry leaves
（落ち葉で覆われた火（扱い））
或いは
Dry leaves covering fire
（枯れ葉が覆った火）
でした。
そして２案のうち、第一案を短く
Covered firing
としたのが、表題です。

是は自分の子供の頃の思い出が強すぎるせいか「焚火」の訳と言うより「落ち葉焚き」の訳になってしまっている、の感是在り、で的外れな訳である事は既に気づいておりますが、致し方ございません（焚火には落ち葉だけじゃなくて薪とか木の枝とかもありますのでその場合は cover より put を使う方が的確でしょうから）
しかし、一方、そこ迄いうならいっそのこと開き直って表題を
Fire for smoked potato（cooking）
か
Fire for potato smoking
にしちゃった方が良かったかもしれません。
今の子供達に昔の子供の遊びを知ってもらう為には。

本編

2022/11/2-4

「肩書ゾンビ」

「それにしても我々日本人、と言うか漢字文化圏の人間は肩書、大好きだよね」
「日本人、漢字文化圏、肩書。何かすごいラインナップだね、今日」
「ところが漢字文化圏以外のアジア系外国人、詰りウチの従業員なんかは、肩書には全く関心なし。店開いて5年だが連中、店の名前は覚えてるが会社の名前が何なのか未だに知らんのだから。我が国じゃぁ考えられんだろぅ？要するに連中は花より団子なのよ。我が国では当たり前な社会保険完備、交通費全額支給、有給休暇があるというだけで wow, Excellent company っていうんだから。その癖そのカンパニーの名前は前述の如く、全く覚えてない。で、もっといい条件あれば名前そっちのけですぐ転職しちゃう。例えばトヨタで20万の月給だったとしてウチの様な無名の会社でも30万出すって言ったらホイホイ移ってきちゃう場合もある。将来年金より先ずは月給。零細「起業」には人材獲得面で有難い事よ」
「えっ、そうなの？肩書大好きって、全世界どこでも同じだと思ってた」
「でもないよ。欧米でもそうでもない様な処あるから、何か漢字文化圏てぇ、突出して肩書に拘ってる様に思えて来たなぁ。肩書と言うかブランドというかラベルというか属性というか、兎に角セグメンテーション好きよ。直ぐにレッテル貼りたがるし」
「確かに出身大学、ゼミはどこ何処、勤めてる会社はどこで、役職は何で、済んでる地域はどこそこで、男で、女で、ナンチャラカンチャラうるさい事は確かだわなぁ」
「人を見る時、老若男女を問わず、都市出身、地方出身問わず、第一次産業従事者、二次、三次、四次問わず、全部其れで見るでしょ、ラベルで。目の前に居るご本尊差し置いて」

「ご本尊!! 譬えがスゴイね。ボキャがそのセンスだから初対面の人、ぶっ魂消ちゃうんだよ、殿」
「と、と、殿!! ま、よかろぅ、千代丸。で、だ。そんなに大切にして、世の中渡る羅針盤にさえしている肩書初め属性に関するラベルの大半を定年と共に失っちゃうから、そりゃ一大事な訳よ。或いは定年を待たずに都落ちなんかしちゃうと一家崩壊にすらなり兼ねない訳よね。その主たる原因として」
「だからかぁ、張りぼて見かけばかりの爺婆が横行してるのかぁ。見栄と虚勢の極致。虚ろなる事、ゾンビの如し」
「退職して肩書なくなったら、単に「素の自分」に戻ればいいだけなのに、現役時代と同じ重みの代替鎧兜を探そうとするから焦るし、また探してもそうは簡単に見つからないから、手っ取り早く虚勢や沽券に走る訳よ。特に殿方は。
奥方様は見栄さえ保てりゃ何でもいいから実入り優先なんだけど其れが 0 となると、もう厄介者扱いなのよね。前にも話したけど別に目の前のご本尊様と結婚したんじゃなくて属性である「肩書と年収」と結婚した訳だから其れが消えたとなると、もうお荷物でしかない訳よ。飯作るのも鬱陶しい位に」
「なんか平家物語」
「ナニソレ？」
「他人事ながら、いと哀れ也けり」

（注）
「平家物語」
琵琶法師による音曲説法
「平家に非ずんば人に非ず」
とまで言っていたその平家もやがては
「祇園精舎の鐘の声
諸行無常の響きあり
沙羅双樹の花の色
盛者必衰のことわりを表す
奢れるもの久しからず
ただ春の夜の夢の如し」
となった、の一節に掛けて。

平家も当時最強、永世不滅と思われた一種の「肩書」「ブランド」でした。

●2022/11/2-4 本日のオマケ記事
022/11/ 2 -5
（オマケの英語教室“Katagaki” is Rank status mark?）

さて、英語で肩書を何というのか？
マタマタ辞書なしの推理ごっこです。
先ず肩書を直訳すると「written on shoulder」となりますが、いくら何でもそりゃないでしょう。
では「肩書」と言う日本語から生まれるイメージにはどんなものがありますでしょう？
よく耳にするのは先ず
Status
次には
Level
Rank
Mark
位でしょうか。
後、
Class
とかも。
このうち level はどちらかと言うと能力を表している様なので外します。
残ったのは、status rank class mark。
で、それらを取っ替え、引っ替え組み合わせてみますと
Rank status mark
Class status mark
がいいような気がします。

因みに status は日本語で使う場合の所謂「ステータス」ではなくて、此処では「現在進行中の工程」位の意味でつかっております。
宅配便で運ばれる注文品の現在移動状況の事を「現在のステータス」とか出る場合がありましたので、そう解釈致しました。
Mark は emblem とかにしようかとも思ったのですが、いかんせん大げさ過ぎる気がして外しました。いくら何でもそこ迄御大層でもなかろう、と。
再び因みにですが、emblem は紋章とか記章とか言う意味です。
例えば BMW とか Benz の emblem は皆さまご存じの例のあれで御座います。
Mark は当然ながら「御（お又はみ）しるし」で御座います。
現代日本語での「マーク」は酷く軽い感じが致しますが、これを漢字で書き表しますと「御印（みいん、ごいん）」となり結構、格調が高い様で御座います。

本編

2022/11/3

「却って逆効果。なので、正々堂々珍多羅漫多羅」

「11 月 3 日、文化の日。奇しくも今日は初恋の人の誕生日で且つ俺のオヤジの命日のダブル記念日だ」
「爺さまの命日は兎も角、その歳ぶっこいて初恋の人の誕生日未だ覚えてるなんて珍しいよね」
「ん？フツー覚えてるやろぅ。そんな事くらい」
「俺、全然覚えてないよ、自分のそれは」
「そりゃ幾ら何でも失礼やろぅ、彼女に。お前、その時だけ豪華なプレゼント渡して、その後はケロッと忘れてるなんてぇのは男の風上にも置けへんどぅ」
「何いってんのよ。それが現在我が国の平均的男子像でしょうに」
「えら、レベルダウンしとんねんなぁ、一昔前と比べると」
「大枚はたいてプレゼント買って彼女に贈っても、あんまり喜ばれないみたいだから、早晩記憶の中から消えちゃう様になっていったんじゃないの？彼女の誕生日」
「そういうもんかねぇ？なんか、寂しい世の中よのぅ」
「それはそうとして、昨日こっちに泊まって、オヤジ店に出かけちゃったから代わりに朝、俺がゴミ出した時に近所の人が
「お風呂の中であの「珍多羅漫多羅」とか言う下品な鼻歌大声で歌うの、止めてくれませんか、お宅のお父様が。教育上、よろしくありませんからって言ってきたよ」
「何？どこが下品じゃ。
♬珍多羅漫多羅学校さぼって渋谷を行けばぁ～青学のねぇちゃぁんが、横目でにぃらぁむぅ。

遣りたいな、やりたい、やりたい、やりたいなぁ。
青学のねぇちゃぁんと、勉強遣りたいなぁ〜♬
の、何処が下品やねぇ？あん？言うてみぃ」
「て、俺に言われても」
「二番もあるでよ。
♬珍多羅漫多羅学校さぼって四谷を行けばぁ〜上智のねぇちゃぁんが、横目でにぃらぁむぅ。
入れたいな、いれたい、いれたい、入れたいなぁ。
上智のねぇちゃぁんを、部活に入れたいなぁ〜♬」
「こうして二番迄聴いてみると、なかなか秀逸な歌だね」
「せやろぅ。じゃ、あとおそそで音頭も歌おうか？」
「そこ迄求めてない」
「ハイ。では、そもそも隠すから見たくなるのよ。ダメって言うからしたくなるの。却って逆効果な事ばかりやってる気がするのよ。エロ本だってエロビデオだって、ハイどうぞしこたま見させて、職場や学校でも不快じゃない下ネタオープンにした方が余程妙な犯罪減ると思うけどなぁ。それを一律ダメって言うから陰でコソコソが始まって、更に凶悪卑劣化促進させてんじゃないのかなぁ？今の何でもかんでもダメって、異常にヒステリックな予防線張り過ぎてんじゃないの？どう考えたって逆効果な気がしてならないんだけど、心理学的観点からは」
「そういえばオヤジ、外国人従業員と仲良くなったきっかけはエロ話だったって言っていたよね」
「大体人間なんてそんなもんよ。数学とエロ話、どっちが楽しいっていったら、エロ話に決まってるでしょ。少なくも職場では、全世界的に」
「そういうの、グローバルスタンダードって言うの？」
「有史以来の歴史的グローバルスタンダード is」

●2022/11/3 本日のオマケ記事
2022/11/3-2
（オマケの英語教室 It`s a secret story）

ヒソヒソ話を英語で何というのか？
今日も又、辞書なしの推理ごっこです。
勿論、そんな単語、知りません。
なので、今日はそのシチュエーションで代替表現してみます。
曰く
Come on, come, come, come on here.
Let me have your ear.
It`s a secret story, surely confidential matter. Never leak to others. OK?
（ねぇ、来て、来て、こっち来て。お耳、貸してね。これヒミツ。モチロン、極秘の、アレ事項。絶対他人に、言っちゃダメ。分ったぁん？）
ジャストな単語が分らないときには、知ってる単語を使っての寸劇（コント）風がよろしいかもしれません。
兎に角コミュニケーションを取るにはあの手、この手を繰り出し続ける事のようです。要諦は。

本編

2022/11/3-5

「こうやると微笑めます」

「以前テレビで女の先生が「こうやると微笑めます」って言うの、やってたのよ。顔上半分の力抜いて、下半分に微かに力入れて、口は左右にやや引っ張り加減にして右端と左端を心持ち引き上げるとかって。なんじゃ、こりゃ、正気かよって思った事があるのよ」
「それって化粧品販売員とか展覧会ブースのコンパニオン向けのコーチングか何かじゃないの？別にそんなの、よくある事ジャン」
「えぇ!! 微笑むってそんな事な訳？そりゃ、違うでしょう。そりゃ微笑んで見えてるだけでしょうに。微笑んで見せる度に後ろで豚の貯金箱にチャリンチャリンてぇ音が聞こえるようで興ざめじゃないの？あん？」
「何、大人げない事言ってんのよ。今の世の中大抵が紐付きに決まってるでしょ。裏があんのよ、裏が。表に裏は付きもんでしょうに」
「学校でそんな事教える訳ないから何処で習ってきたの、そんな事」
「世間高校と世間大学と世間大学院で、よ。博士課程迄行ったからそっちの方面では可成りインテリ・スペシャリストになってる訳、俺は」
「そういうの、あんましインテリとかって言わないんじゃないの？フツー。それだったら未だマックの（イン）「テリ焼き」バーガーの方が世間様に対して価値があるんじゃないの？」
「あんまし面白くない、そのオヤジギャグ」
「あ、そ。じゃ、次回はもうちょっとマシなの考えとくわ」
「そんな事に時間費やさないで商売の方に費やしたら？未だしもオヤジが言った「なんじゃ、こりゃ」の「微笑み方教室」の方がマシだよ、世間様にとって」
「しっかし、それにしても最近「笑いが絶えない家庭」って、リビングに皆いる事は居るんだけど、各々が各々のスマホ見て夫々勝手に笑っている集大成をそう言っているだけみた

いなんだけど。これもちょっと、あんまりじゃない？」
「極々フツーなんじゃない？現代の光景としては」
「そういえばウチの外国人コックから「家族でレストランに来ているのに何でみんな何も喋らないでスマホばかりみてるんですか？ボス」って聞かれた事あったけど、返答に困ったなぁ。で、見るともなしに見えちゃったお客さんのスマホ映像が you tube の瞬間一発芸だったり、ひねりにひねった外国人受けは絶対しないお笑いだとかで外見的には会話で一緒に笑っている様に見える訳よ。だから連中にしてみれば目の前で何が起きているのか皆目分らん訳よね。分るのは唯「ボス、払うお金と手つかずの食べ物、勿体ない」って事だけ。で、言う訳「（それをして財布痛まない）日本人、お金持ち」って」
「何？次はフードロスの話か何かにぶっ飛ぶ訳？」
「うんにゃ。最近思う事、に」
「又「チチクリマンボ」とか禄でもない事言うんでしょ、どうせ」
「か、どうかは分らんが最近思うのは「一体我々は何をやっているんだろうか？毎日」って事。だんだん分らん、なってきてん、ホンマ」
「其れ、店で言わん方が良いよ。お客さん、来なくなるから」

●2022/11/3-5 本日のオマケ記事
2022/11/3-4
（オマケの英語教室 So sad）

Recently in our country, smile is not free charged, I feel. That is so sad.
（近頃我が国では、笑顔もタダじゃないって感じ。それがツライ）

本編

2022/11/4

「世の中の効率」

「公文(くもん)教室って「おいでよ、教室!!」っていう隠し意図があんじゃないのかなぁ」

「大抵のぶっ飛びには慣れてたけど其処迄距離あるともう殆ど星空の彼方だわ」
「まぁ聴け。「おいでよ」は英語で come on だろ。日本語表記だと「カモン」。処が外国人の発音は「クゥモン」な訳。だから「カモン」は「クゥモン」で「公文」は当て字じゃないかなって。一応筋、通ってるでしょ」
「すみません、ちと其処の機動隊のお兄さん。「ハチの八機」のお兄さん。此のオッサンさっきからウッサイから強制排除してくれません？一応僕、納税者なんで」
「お前、何でそこに「ハチの八機」が出て来るの」
「前、オヤジ第八機動隊が「ハチの八機」で第九機動隊が「鬼の九機」だっていってたじゃない。鬼の九機は怖いけどハチの八機は比較的優しいって」
「お前、聴いてないっていう割にはようそんなディテール、覚えとんなぁ」
「オヤジの話って中身「カンカラ」つまり「完璧に空っぽ」だけど語呂だけは良いから何となく覚えちゃうのよ、結果」
「そういえば昔、通ってた大学のキャンパスがロックダウンされちゃって機動隊と小競り合いになった時、俺「学生確保」ってハチの八機にフン捕まった、校門前で」
「オヤジ昔そんなに過激だったの？」
「ちゃうで。昔俺の通ってた大学で同期入学の新入生がリンチで殺られちゃって其の抗議

活動してただけなんだけどね。したら超ド級ド体制派のオヤジが「お前は学生の本文だけしてればよい。妙な事に関わるな」って初めは言ってたんだけど「背中で泣いてる唐獅子牡丹、見て見ぬ振りは男じゃねぇ」って吠えたら「じゃ、遠く後ろから石投げてろ。絶対前に出るな」って。でもって「お前、少年野球で外野守ってたんだから遠投得意だろ。この日の為に少年野球やってた様なもんだろ」って。俺も分らんがオヤジはもっと分らん処あったなぁ。でも結果、一番後ろに居て「ヤダ」って言うのに皆に押されて気が付くと最前列に居た訳。でもって、「な」訳」
「プロの活動家と違って一般学生程怖いもんないからねぇ。何せ状況弁えてないから時として時空を超えた無茶ぶりするし」
「まぁね。フツー「熱し易く冷め易い」っていうけど俺の場合「熱し易く冷めにくい」っていう「電気釜」的な処があって保温機能付きなのよね。で、もって学校にいけなくなって二年留年よ。ご近所様からは「お宅の坊ちゃん、大学院にお通いになってらっしゃるんですって？」とかウルトラ超イヤミ言われてたみたいだし。親」
「処でオヤジ「おいでよ、教室」から始まって何で今「留年の話」になってんの？とどのつまりは何なのよ、本日の主題は」
「主題？そんな御大層なものはないよ。唯ちょっと流しただけ。でも、まぁ強いて言うなら「人に歴史あり。モノに秘めたる隠し意図あり」かな？」
「あんだけ、喋って、結果、そんだけ」
「世の中の効率なんてそんなもんよ。「千三つ」が常、よ」

（注１）
「千三つ」千に三つの割合の事（又は千に三つしか本当の事を言わない）。非常に少ない、効率が悪い、という意味の譬えです。（カッコ内の意味では信用できないという意味になります。
逆に申せば三つ当てようとしたら、或いは本言本物を得ようとしたら千発撃たなければ的（本言本物）は射（得）られない。残り 997 発は無駄玉覚悟でやりなさいという事にもなります。
当てるのが一つなら 3 で割って 333 発。残り 332 発は矢張り無駄玉覚悟という計算になります。
「成功の秘訣は成功する迄やり続ける、是に尽きる」を数式化すると右記のような計算になるようです。
又、成功は 1 発必中の努力をする事で得られるものではなく 1000 発撃ち続けられる努力をする事で得られるものであると言っている様にも聞こえます。

（注２）

「センミツ」は昔活躍していた「ナハナハ」ギャグで人気を得た、お笑いピン芸人「せんだみつお」の略称ではございません。特に昭和生まれの方は混同なされませぬ様。この話に「なんであいつが出てくるんだ」と言う事にもなりかねませんので。

●2022/11/4 本日のオマケ記事
2022/11/4
（オマケの英語教室 depending on）

「家族帯同」者、例えば外国人従業員の奥さんやお子さんの事を出入国在留庁、略して「入管」英語では dependant と言います。奥さんやお子さんの在留カードにもそう記載されております。
Dependant は depend on「寄りかかる、頼る」と言う英語の派生語ですが、それを此処で記すと赤の波線が下について「そんな言葉はない」と意思表示されます。恐らく造語に近いのでしょう。
他には belongings が belong to 「に、属する」の派生語で「遺品」の意味に使われております。
それは兎も角として本日のお題の元は「流れに身を任す」を英語でなんというか、です。
今日も又当たるも八卦、当たらぬも八卦なのですが、自分はこう訳してみました。
曰く
Will have depending on a flow.
Flow はフローチャートなんかでお馴染みの「流れ」を表す言葉です。専門的な和訳は「遷移図」となります。
「遷移」の「遷」は「遷都」に使われております「遷」で、中学の歴史で「しがらみ無くし(794)て平安京」の語呂合わせで教わった 794 年の京都平安京遷都なんかのそれに出てくる奴です。
此処で言う「しがらみ」とは、その前の都、奈良平城京で行われていて、後にその影響力が看過できない程に迄なった「僧侶支配」を指していた記憶があります。
他には今某国営放送局制作の大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」で話題になっている源頼朝の鎌倉幕府創建年号の覚え方として「いい国(1192)作ろう、鎌倉幕府」とかもありましたっけ。

尚、写真は美空ひばりの「川の流れに身をまかせ」の歌詞を含む「川の流れのように」の CD ジャケットを拝借させて戴いております。

本編

2022/11/5

「処で話変わるけど、
なんか俺もつまんない。
なんで？」

「ね、ね、今時の人って「金太、まぁ、大きくなったわねぇ」とか「スウェーデン製のボンボ」とか「大変おそそ末様でした」とか言わんの？」
「ナニソレ？金太は何となく分るけど、他は皆目分らん」
「じゃぁ「チチクリマンボ」とか「オマンタばやし（囃子)」とかは？」
「言わない」
「言わない！それじゃぁ近頃の若人は「アブナイ楽しみ」なくて、人生つまらんでしょう」
「そんな事ないよ。スリリング系じゃゲームもあるし e スポもあるし、you tube とか insta でも時間潰せるし」
「全部電子系かよ。電気なくなったらどうすんだぁ？オマケに健康に悪いもの程旨い派の俺にはどの遊びも何か物足りないし、必ず事前血圧検査して来い、みたいで何か窮屈だし」
「確かに食い方、羽目はずれてるし、食ってるものも揚げ物系とか「横浜家系ラーメン大盛、

ニンニク、背油増し増し」とか超健康に悪い系程、好きだよね。この前一緒に行った昔の友達、翌日胃モタレでダウンしちゃったんでしょ、余りに濃コテ過て」
「俺の場合、水前寺清子風に言えば♬脳はなくても、胃の腑の錦ぃ。どんな濃コテ、平気やでぇ♬やからなぁ」
「オヤジって超越し過ぎてんのか人生舐めて掛かり過ぎてんのかよく分かんなくなるよ、全く。そんなでよくその歳迄適者生存をまっとうできたよねぇ。厳しい淘汰の選別網、かい潜って」
「世の中はね「天網恢恢疎にして漏らさず」だから、何か未だ隠された存在意義残ってんでしょうねぇ。当然俺に分る筈もないけど」
「確かに悪い奴程よく眠るし、平凡な奴ほど出世レースで生残ったりするからねぇ。天の計らいは我々下界のものには分らん事が多いのは確かな様だね」
「漱石先生もおっしゃられているじゃないか「レッツ則天去私、に生きよ」って。確か、そんな様な事」
「えっ？それってこの前オヤジ「チェーホフ先生がおっしゃられていた」って言わなかったっけ？ダバイチェ則天去私、パジャールスタ、とかなんとか露文科卒を疑うような怪しいロシア語で」
「えっ、そうだったっけ？ま、洋の東西を問わず、兎に角誰かが言ったのよ、過去のどこかのある時点で。でなきゃ、俺がそんなの考えつく訳ねぇだろぅが」
「処で、その則天去私って、何？」
「ホントの処は俺にもよぅ分らんのだが、俺が此処での用法は「大した頭でもないのに、下手な考え、休むに似たりだから、つまらん図り事をするな。まぁ、暫くは成行き任せ、風任せで行った方がお気楽且つ結果も余程マシなんじゃないの？位の意味かなぁ」
「それでいつもボーッ、な訳？」
「俺はボーッなの？」
「ん、ま。処で話は変わるけど、正直言うと、なんか最近、俺もつまんない。なんで？」
「何で？て、自分隠して朗らかエロ話、天然自然に則天去私ってないからじゃない？」
「う、あ、そういや俺、用あった」
「何、話これでおしまい？是からが本番 show なのに。あぁ、本番お預け、つまんねぇ〜」

●2022/11/5 本日のオマケ記事
022/11/5-2
（オマケの英語教室 I don`t enjoy）

「つまんない」を英語で何と言うか？
この英訳にあたって、我々日本人が往々にして遣りがちなのが「つまんない」の中の「詰る（つまる）」から直訳し始めるような発想の仕方や進め方です。
先ず、そういう方向を向いてしまう。
例えば
Occupy(occupied)とか reach to the end of とかに着眼点が行ってしまう。
しかし此処で使った occupy とか reach という単語の方がむしろ難しく感じられる方もいらっしゃるでしょう。
なので、これは「違う着眼をしがちだ」という事を示すための例に過ぎません。
例の出し方が悪いのは自分の説明技量の低さのせいです。
それはさて置き、それでは「つまんない」を表現するのにどのような着眼をすればいいのか？
其れに該当するジャストなイディオムを知らなかった場合、自分としては探している意味合い（「意味そのもの」ではなくて「意味合い」程度でいいのです）さえはっきりしていれば、ブロード（大体、適当）で構わないので「つまんない」を別な角度から見て、例えば反対から見て、其処に転がっている自分が知っているもっと簡単な英単語に置き換えてみるようなことをお勧めします。
曰く
「つまんない」をほぼ同じ感じがする別の言い方。例えば「楽しくない」とか「楽しめない」とかに置き換えてみる訳です。
それを英訳すると
I don`t enjoy
I`m not enjoying now

I can`t enjoy
It`s not enjoyable for me
It`s not fun
Too much over
Too less under
No, no, not good
Ups
とかいろいろ出てきます。
ちょっと気を利かして entertainment（エンターテイメント）entertainer（エンターティナー）を使えば
I can`t hold entertainment for it
I don`t feel entertainment from it
I can`t get entertainment from it
It`s not entertainment for me
It`s not entertainer (or entertainer performance) for me
Entertainments no stay
Entertainment left away
或いは全く反対に、肩をすぼめるとか渋い顔の仕草（ジェスチャー）をやや大げさにしてみるとかでもいいのです。
これで外人さんにはあなたが抱いている「つまんない」気分が十分伝わりますから、問題ありません。
要はジャストじゃなくても一向に構わない、全然問題ないという事なんです。ジャスト・ブランド品じゃなくて代替品(replaced one or 救援リリーフ投手 relief pitcher)で十分なんです。そしてその救援策がその場の「抑え」、生じる処だった気まずさの「火消し役」にもなるのです。
気持ちや雰囲気が相手に伝わりさえすればいいだけなんです。
英語学習のキモは、先ずは自分の気持ちや状況を相手に伝える事です。そのうえで英語耳が出来てきたら相手の言い分を理解してあげる努力をする。
要するに語学（同国人であっても言葉、会話）学習の目的は、相互意思伝達、意志疎通を図る事、つまりどの人種、どの階層、男女、老若、知己、赤の他人を問わず、人と人とがコミュニケーションする事に尽きます。
勉強じゃなくて学習の第一義は TOEIC や TOEFL で満点を取ることでも通訳レベルの外交官英語を使える様になる事でもないと思っております。

本編

2022/11/6

「大先生、
アンタ、型の魔力に
負けたんだよ」

「漱石先生は「則天去私」と言ったが少し言葉足らずな気がする」
「嫌だよ、ムズイ話。昔の大先生が言った事に何でそんなに拘ってんの？」
「まぁ、自分でもよぅ分らんが、高校の頃から何故か気になってた」
「高校から？やっぱなんか変だよ。そんなの、いないよ」
「いない、てったって、厳に目の前に居るでしょうに、俺が」
「存在自体、何かの間違いなんじゃないの？「存在即誤謬」の「誤謬存在」みたいな」
「それそれ、それよ。漱石先生は英語のみならず漢文好きだったから 4 文字熟語にしたのが間違いだった、つまり言葉足らずの原因だった様な気がしてならんのよ」
「どういう事？って、また訊くと、またまた調子に乗って独演会始めるから「質問封印」の上「後方移動」」

「「思惑見抜」「凌駕他意」したから「再度説明」ね。わかったぁ？」
「すっげぇ執念。オヤジも爺ちゃんの影響受けて、かなり漢文好きだよなぁ。迷惑この上ないけど。その「負之遺産」即「迷惑無上」の後方是在「無上」二語、レ点付き、だよ、全く」
「「独語無視」して、さぁ次へ。で、だ」
「懲りねぇ〜」
「其れも無視して、更に、で、だ。「則天去私」の「去私」がまず言葉足らずな気がしてならんの。と言うのも現代に於いては猫も杓子も「自分を大切に」でしょう？そんな処に「自分を去れ」なんて言ったって誰も聞く耳持たんでしょう。其れこそ「時代錯誤」感満載故「完璧無視」が関の山。しかし一方でうつ病経験者からすると過度に自分に拘り過ぎると精神衛生上極めて良くない事も分ってきた。ならばこの語をどうするか？と考えてみた処、かなり字余りになるが「去自己都合」なら分る気がした。詰り「自分を大切に」する事と「自己（俺、あたし）の都合を大切（最優先）にしろよな」ではむしろ正反対のベクトルになるからだ」
「じゃぁ、その「自己都合」から「去私」したとして、その後どうするの？「則天」しろっ、てぇ訳？でもその「天」てぇ何よ？オヤジってどこやらの臨時雇いの回し者？なら嫌だよ、俺」
「ちゃう、ちゃう、チワワ。多分「天」は神さまでも仏さまでも、それこそ「天」でもない気がしたのよ。じゃぁ、何かってぇと「自分以外のものを立てなさい」だと思ったのよ。それが何かは分らないけど「自分を一番てっぺんに置いてはいけませんよ」っていうメッセージに聞こえた訳」
「じゃぁ全部を纏めて漢語にするとどうなる訳？」
「まず語順を前後半、入れ替えんといけん気がした。詰り「則天去私」じゃのぅて「去私則天」。その上で各々の言葉に俺の「字余り漢語」を代入していくと、先ず「去自己都合」が前半。で「則天」へは「禁自分天辺置」を代入した訳。
で、全体としては「去自己都合/禁自分天辺置」
是で「則天去私」の「則天重心」が「去禁均等」に是正もされる」
「長ぁ&ムズぅ」
「じゃ「STOP ザ・自己都合天辺置」OK？」
「何、英語ジャン、最後」

●2022/11/6 本日のオマケ記事
2022/11/6-2
（オマケの英語教室 magic magical magnet）

「魔力」を英語で何と言うか？
是はもう magical power しか思いつきません。
因みに magic は魔法、手品と言う名詞で、magical は魔法の、魔法みたいな、魔法みたいに魅力的な、と言った意味の形容詞です。
そういえば「魔法」で思い出すのは「マハリクマハーリタ、ヤンバラヤンヤンヤン」で昭和生まれの方にはお馴染みの「魔法使いサリー」「サリー、サリー、サリーちゃぁん」です。
サリーちゃんで有名になった「魔法使い」は英語で wizard か witch です。
でも witch はどちらかと言うと鷲鼻で鼻先のとがった鬼婆的イメージが強いので「ポチャカワ」のサリーちゃんとはイメージが合いません。とすればサリーちゃんの場合はもう片方の wizard になりそうですが、自分はそれよりも見た感じから little magical lady 又は magical princess の方が英訳としては妥当だと思います。
処で話は全く変わりますが、magic magical の仲間として magnet（磁石）も其れに入るような気がします。
先ず mag という語幹が一緒です。
それに共通イメージとして（魅力で）「吸い寄せる、吸いつける、引き寄せる」と言う感じがあるからです。
では net は何かと言えば言わずと知れた「ネット、網（あみ、もう）」です。
つまり magnet は「吸い寄せる網」「網で吸い寄せる物」となる訳です。
Magnet means net for things coming closer by vacuuming power
みたいな感じです。
商売困難なこの時期、自分も魔法が使えるとかなり助かるんですが、ま、あり得ないでしょう。なんせフツーの爺さんですから。

でも、やり様によってはmagnet作用（効果）は作り出せるかもしれません、努力のレベルによりケリですが。

本編

2022/11/6-2

「ペダル踏めども前行かず。

初めちょろちょろ中ぱっぱ。

その内いい事あるかもね」

「新入社員の頃、部下を５０人抱えた工場の主任さんが
「本当に自信を付けたかったら、自分の得意な事を伸ばしてマージンを確保の上、盤石を図るより、こんなのできっこない、出来そうもない、全く自信がないという様な事「を」「克服する」、イヤ、という事「に」「手を付けざるを得ない」事態に陥って、兎にも角にも「何とかする」「どうにかこうにかやり遂げる」「どうにかこうにかでいいからヤリきる」事の方が本筋だ。この「何とかする」を英語で manage と言う。マネージメントやマネージャーを管理や管理者と訳しているが、いざと言う時に「何とかする」のがマネージメントとマネー

ジャーの本懐だ」
と言ったんだ。其れと言うのも生まれて初めて「コストを大幅ダウンしろ」と言う「何をどうしていいのかさっぱり分からない業務命令」を受けて目の前真っ暗で出来ない理由ばかりズラズラ並立ててた時、主任さんがそう諭して呉たんだ。そして１年後、十分とは言えない成果だったが兎にも角にも遣りおおせた時に得た足感は信じられない位 fruitful（邦訳：実り多き）だった。是から色々あっても何とかこの世界で生きていけそうな気がしてきた。今思うとそれが自信と言われるものだった様な気がする。自信を持とうとして持ったんじゃなくて「避けて通る」のが一つ減って「今迄みたいな気遣いせずに少し気儘に動けるエリアが増えた」様な。後で思うと「あ、あれが自信だったのかぁ」的な」
「オヤジ本人は「妙な奴」の一言に尽きるけど、周りの人には結構恵まれてるみたいね。是迄の話、総合すると」
「ペダル踏む割に前に進まないの、見兼ねてんのかなぁ？でも、人って話し込むと結構スゴイ智慧、只で呉たりするのよね。えぇ、こんなのタダで貰っちゃっていいの？みたいなスゴ技」
「それであちこち話し込んでる訳？」
「うんにゃ。話し込むのは俺の趣味、癖、質（たち）なだけ。スゴ技だって気付くのはその場じゃなくて、かなり飛んでも八分に時空を超えた後々の場合が殆どだから」
「要するに、棚ボタ＆忘れた頃に「ハイ、こんにちわ」だった、って事ね」
「なんか、いとも簡単にそう纏められると、入り口即出口、見どころ、何処だったの、疑問符付」、「さぶ、寒（さぶ）コント」みたいで面白味、かなり減じてまぅ感じやねぇんなぁ」
「何言ってんのよ。人生はお笑いコントじゃないんだから、そんな事気にしなくていいの。ハイ、認識チェンジ、してね」
「うぅむ。お前、実の処俺より８，９年前に生まれてなぁい？実は終戦間際に生まれてたとか」
「んなわけ、ないジャン。子が親産んでどうすんのよぉ。科学の法則、無視して、どうすんのぉよ、って」
「お前も話の譬えが、だんだん大袈裟になってきたなぁ」
「是を期にオヤジも「人のふり見て我が振り直」したら？」
「だんだん生き写しになって来てる。恐ろしい事だ」

（注）
文中「本懐（ほんかい)」とありますが、初め「本道」「本筋」「本旨」等の中から選んで宛がおうとしておりました。
が結果、最後は「本懐」と致しました。
理由は学生の頃に聞いたレコードの一節「男の本懐ぃ、遂げさせて、あげるぅ」で大笑いし

た事を思い出して懐かしくなりましたので、遣わせて戴きました。
尚「男の本懐、遂げさせて、あげるぅ」の意味は、皆さまのご想像にお任せいたします。
ヒントとしては
「していいの？させてくれんの？ガハハ、ラッキー」
みたいな感じです。或いは、でした。

●2022/11/6-2 本日のオマケ記事
2022/11/6-4
（オマケの英語教室 I`ll manage it）

表題の I`ll manage it で「俺が何とかするよ（私がなんとかするわ）」
となります。
他の記事でもう何度かこの件については書いていますので「またかよ（又なの）」とおっしゃられる方もいらっしゃるとは存じますが、ご容赦の程、よろしくお願い申し上げます。
何しろ英語に関しては持ちネタのストックがそれほどございませんので。
我が国で management とか manager と言いますとめちゃくちゃ印象が悪い場合が多いです。
其れは邦訳が「管理」とか「管理者」であるからでしょう。
中間管理職は上と下に気を使って板挟みになり、下は上を煙たく思う。
これが一般的な心象風景。お互いに苦手意識だけ「共有」と言うシャレにならない状況。
しかし英語の原義は「いざと言う時に何とかする事」「何とかする人」なのです。
だから表題の訳は
「俺が管理するよ」ではなく「俺が何とかするよ」なのです。
全然器の大きさが違う行為や人物像なのです。
是を一言でいえば「親分肌」とか「親分」と訳せるのです。
だから英語で上司の事を Boss（ボス、親分）と言うのです。
それにしても、一体何処からまるで正反対の邦訳になってしまったのか？
そんなことを調べてもしかたありませんが、これは世紀の「大誤訳」に一つであることは毎違いないと思っております。
もし是が意図的にされていたとしたら、その意図は「上役階層の責任逃れ」以外の何物でもない気が致します。

本編

2022/11/7

「続 新うつ病ドロンパッ読本」

「うつ病の「鬱」ってなんか滅茶苦茶込み入っててとても書けそうもないでしょ」
「毎日その字と睨めっこしててそれなら、縁のない人は尚更書けないだろうね」
「逆。うつ病の人は普段から頭の中ゴチャゴチャだから更にゴチャゴチャが増しそうなこんな字みるのも嫌で、言わないけど内心「そっとして置いて。構わないで」が本音」
「確かに鬱っていう字「鬱屈」「鬱陶しい」「鬱蒼たる」とか「もやって」「ハッキリしなくて」「滞って」「淀んでる」「高温多湿」な感じするわなぁ」
「そう。整理が付かなくなって流れも悪くなって「もう分ったからいいよ。いい加減にして

よ」って言う感じもあった。丁度同じ轍を堂々巡りしている様な。そして同じ処を堂々巡りするもんだから、前へ進もうとすればする程、増々深みに足を取られて抜け出せなくなるような「逆効果感」もあったなぁ。一言でいえば「ウンザリして暑苦しい」
高温多湿の我が国の夏に、冷房を利かそうとすればする程室外機からは温風が出てくる、その前に立っているみたいな「理不尽な暑苦しさ」
涼んでサッパリしたいのにそれとは裏腹に益々じっとり、ねっとり、べっとりみたいな」
「我が国が常夏の国だったらヤバかったよね。生涯エアコン室外機の前、だった訳でしょ？」
「地球温暖化が進むと、あり得ない話でもないかも、な。そういう意味じゃこれからの人は大変だわ」
「又話あちこち飛ぶといけないから今日は「鬱」の字一本に絞ろうね。お願いよ」
「じゃぁ、よく「うつ病の人に「頑張れ」って言うのは一番良くない。増々追い詰められて却ってうつ病を悪化させるから」っていうけど、其れって余り関係ない気もするのよ。確かに「一応声かけたからね」のアリバイ的な其れだったら御免被りたかったけど、相手が本気で心配してそう言ってるんだと思えれば多少外れててもいいのよ。我々が一番傷つくのは相手が本気じゃない事。本気だと思って話したのに本気じゃなかった時の「裏切られた感」と「これ以上傷つきたくない感」から皆耳を塞いじゃうのよ。本気で聞いて呉るなら相手が良い答え持ってなくても、本気で聴いてくれただけで一応は留飲下がるのよ。だって本当は自分の事、話したくて仕様がないんだし、分かって貰いたくて仕方ないんだから。特に本人の利害官営者には。処が利害関係者って大抵身近な人でしょ。上司、家族、仲間内とか。で、その人達は自分の殺生与奪の権、生かすも殺すも自分次第なんだから、近しい人に程切出せず苦しむのよ。捨てられたくないから。見放されたくないから。
だから葛藤して堂々巡りしちゃうの。助かりたいけど本当の事は言えない。で「大丈夫、何とかするから」って無理する訳。そんな時に「頑張れ」「早く治って」って言われたら「もうこれ以上頑張れない。早くなんか直れない。どうしろって言うんだ、お前達は」が本音。いい加減ウンザリしてんのよ。葛藤熱で」

●2022/11/7 本日のオマケ記事
2022/11/7
（オマケの英語教室 circular logic）

お題の circular logic は凡そですが「堂々巡り」が一番近い意味です。
と言うか自分は「堂々巡り」を語る時にはこの語を充てております。
では、どういった場合に「堂々巡り」等と言う英訳するに直ぐには出てきそうもないこう言った言葉を使っているのかと申せば、嘗て自分が１２年間うつ病によって「囚われの身」になっていた時の話を外国人にする場合に使っております（当然邦人には英語ではなく邦語の「堂々巡り」を使って話をしております）
Logic は既に皆様ご存じの「論理」とか邦語カタカナの「ロジック」でお馴染みなので今回の話題からは外します。
では circular はどういう意味（イメージ）（注：以下「意味」と書きましたら「イメージ」と言う語を付帯するものとして表記は割愛致します）なのか？
是はズバリ「円（円弧）」がその元になっている circle からの派生語です。
circle（サークル）は、よく「大学のサークルで」とかで使いますが、この場合の「大学のサークル」は「クラブ」の意味と同義で使われております。
しかし元々の意味は「円陣」です。或いは「車座（対面方式）」
同じく circle の派生語に cycle（サイクル）があります。これは「回転 円 運動」を表します。
Bicycle と書けば Bi=２、cycle=回転円運動と併せて２輪車、つまり「自転車」を意味します。
Cyclic と書けば cycle=回転円（交互）運動の形容詞形で「このボタン、サイクリックなの」と言う様にボタンを押すたびに on/level 1/level 2/level 3/off/on/level 1～が繰り返される操作仕様を指します。
他に circle の派生語としては circulation/circulator があります。意味としては「換気」「換気扇」です。是は「空気交換（循環）の連続運動」からきております。

つまり circle には「円」の他に「循環」という意味もあるのです。
この「循環」がいい方に働けば所謂 eco system（エコシステム）になり、悪い方に働けばいつまで経っても同じ事を繰り返してそこから抜け出せず、却って深みに嵌っていく「堂々巡り」の「悪循環」になる訳です。
なので、うつ病経験者の自分は circular logic をうつ病の特徴的な症状である「堂々巡り（的思考状態）」の「悪循環」の当て語として、この語を使っている訳です。
以下は余談となりますが、先述の eco の文字の中の「c」を「g」に差し替えますと eco が ego になります。
Ego そのものは単に「己、自分、我」と言う意味ですので、特にいいも悪いもないのですが、ego の派生語である egoism となった場合には「自己中（自分中心、自分の都合最優先を周りに強いる。自分はそうされて当然の人間である、という思考法）」をイメージさせる様な明らかに悪い意味で使われております。
これは今後の地球と人間の行方を占う上でも重要な岐路を暗示している様に思えます。
即ち
C 方向に行けば eco cyclic(circular, circulation) mode となり地球と人が共生可能になりますが、
G 方向に行けば egoism cyclic(circular, circulation) mode に入ってしまい存立不可能（分断、対立、争い）な事態に陥ってしまう。
気候変動、大規模風水、熱波災害、コロナ禍、食糧危機、格差、分断、対立、ポピュリズム、戦争、等昨今の大混乱を「見るにつけ」ではなく「接し、体験し、その渦中に入り込むにつけ」我々は今、大変な岐路に立たされているのだという事を他人事ではなく将に自分事としてひしひしと実感しております。
Stop the egoism cycle, Set the ECO cycle for our future with this planet.

注：set=settle: settle（纏め、解決する）には「焦らず落ち着いてゆっくり、即ちじっくり」と言うニュアンスがあります。しかし語音としては幾分インパクトに欠けますので、敢えて強めの set を使いました。

本編

2022/11/8

「何、家だけ違ってた！」

「親父がおっかないのは当り前。お袋がマメなのも当り前。何処の家も皆そうだと思ってた。52 の時に親父が死んで、その直後に離婚して、その後うつ病が寛解した 55 歳になる迄。処が全然違ってた。周りにそんな家、一つもなかった」
「前から俺言ってたジャン。他の家は「成る丈、楽なさい」なのに家だけ「苦労は買ってでもしろ」って。何か家だけ変だって、何度もお母さんと一緒に言ったじゃない、俺達。でも何で今頃そんな事に気付いたの？」
「55 の時「ん？」な事があってその後色々観察した結果 69 歳の今になって初めて分ったんだ。家だけ「お小遣い、お年玉、お誕生日会、一切無し」の親父の代から違ってたんだって」
「う、完無し。異常な家庭環境。で、何に「ん？」したの」
「元小学校の教師でその時はお花の先生してた 84 のばあさんと飲み友達になって、その先生が突然「あたし、あたしの言いなりになる男が好き」って言ったのよ。えぇ？そんな情けない事、喜んでする男なんているの？俺なら絶対ヤダ、って。超違和感だった」
「要は昔流行ったアッシー君、メッシー君ね」
「足だか飯だか知らんがその後飲食店という商売柄 70 代以上の何人かのお客さんと話す機

会があって、一人は「主人と結婚したのは当時主人のベルギー転勤が決まっていたからよ。タダで海外旅行できるわって。でなきゃ、しなかったわ」とか「旦那が早々に死んでラッキーよ。介護なしで遺族年金使いまくり」みたいなのばっかりで、流石にそこ迄サンプルが揃ってくると「え？そっちが今のスタンダードなのかぁ」と驚くやら呆れるやら、しながらも、認識を変えざるを得なくなった訳よ。その人達の娘世代である俺の元奥さんは俺から見りゃ例外中の例外だと思っていたのが、何の事はない、実は彼らの分身、世間によくある例の中の one of them に過ぎなかったんだって事にも、ね」
「詰りオヤジは子供の頃からその歳になる迄世間の動態から隔絶されたガラパゴスのトカゲ、将又、陸に上がった日差しに強いシーラカンスみたいな生きた化石だったって訳だ」
「化石。ガラパゴ。シーカン。絶句」
「絶句じゃなくて一句。知らぬは本人ばかり也。詠み人知れず」
「一句じゃなくてショック」
「しっかしまぁ何で又そんな当たり前の事に気付かなかったのかねぇ？その歳になる迄。そっちの方が不思議だよ」
「生物界に興味があり過ぎたのかなぁ？それとも自然界に範を取り過ぎたせいかなぁ？」
「どういう意味？」
「詰り、生物界って弱肉強食じゃない。そのイメージが無意識に働いて「女は生命力、生存力の強い男に依り付く」って思ってたのかも、って事。だから女は肉食先導系の男を求めると思ってたのに実は草食従順系を求めていたんだって知って魂消たのかも」
「今は女が肉食先導系だから家の中で「肉肉」じゃバトルになるでしょ。だから旦那は草食従順系の、自分の出張り「よろず承ります人材」が得点、高い訳」

●2022/11/8 本日のオマケ記事
022/11/8-2
（オマケの英語教室 fire fat）

英語で fire(fired)は
日本語の
「火事だ！」
の場面でも
「クビだ！」
の場面にも
大砲を「撃て！」
のシーンでも同じ一語で使えます。
又英語の fat も
日本語の
「デブ」
「脂肪」
「太い」
としても同じく同じ一語だけであれこれ使えます。
言葉は同じでむしろ周りの状況の方が変わっているだけなのです。
だから色んな状況変化に対応しやすいのが英語、それを事細かに言語差異化したのが日本語。

以上を踏まえますと、この２例だけ取ってみても英語 2 に対して日本語は 6 にそれぞれ全く別の形（言葉）として独立しており、外国人が覚えるには相当大変です。
逆に申せば英語はそれだけ使いまわしが容易なのです。
以前にも何度か申し上げましたが、我々日本人は英語を学ぶにせよ、外国人に「日本語で話せ」と強いるにせよ、その前にこの「言葉に対する国民性、民族性による発想法や感じ方、考え方の違い」をちゃんと理解した上で事を興す必要がある様に「今回も又」そう思った次第で御座います。

本編

2022/11/9

「これからの世の新習い」

「では現下の習い。お金が貰いものなら返さんでもいいが借ものならいずれ返さにゃならん。唯それだけの事よ。その事をお上は貸した相手が分ってるものだとして貸す。だが借り手はその事を都合よく全く忘れているか、知らないでいる。だから返済猶予期間明けに取立が始まった途端大騒ぎになる。或いは国債増発で国が借金して支援金出してたら、いずれ他の国民にも増税と言う形で跳ね返ってくる。今コロナ禍も例外ではない。支援金を受け取った。店を閉めてもお金は入ってくる。支払経費少で実入り大だから一時見掛けの損益は良くなる。だが支援金が「名前だけいい借金」に変わりはないから矢張り返さんとならん。取立の他に督促状も来る。そこで払えず潰れたとしたら一体何の為の支援金だったのか？もしそうなら「事業存続の為の支援」じゃなくて「倒産先伸ばしの延命点滴金」でしかない訳だ。分る？」
「ハイ」
「此処から新習い 1。じゃ何でそんな行違いが起るかと言えば、今迄お上も民もちゃんとした金銭教育をし、されても来なかったツケなのよ。お金の事いろいろ話すのは下品な事だとする風潮が産んだツケ。是からは先ずそれ変えないと」
「いつも長広舌だけど今日は鼻から飛ばし気味で一気駆け抜け」

「今日の話は途中で茶々入れてブツ切れになると変にから一気呵成ちゃんだった訳」
「何その熟語後半のカセイちゃん、て」
「昭和の頃の或高貴なお方の仇名。身長の割に頭のサイズがでかかったから火星ちゃん、て。それ以前の火星人の想像図って地球人で言えば二足歩行、基、八足歩行のタコみたいなのが国民的人気概念だったからそう付いた訳」
「オヤジって令和の事になるとメモリ容量、昔の USB メモリ 32MB クラスだけど、平成前半と昭和年間の事になると容量、今の外付け HDD 1 TB クラス位ありそうね」
「何かもぅちと生めかしぃと言うか色っぽい譬え、他にないの？是じゃまるで俺の頭ソリッドステートなカチンカチンの石部金吉みたいじゃないよ」
「何そのイシベキンキチって？」
「名前に石と金物入ってるから頭、物凄く硬い奴の譬えなの」
「HDD 内に飛鳥時代のカビ臭さフォルダ迄あるんだ」
「新習い 3。どうしてそれを「博識」って一言で言わんの？何故そう小出しに評価する訳？親世代には。同世代とか後世代となると「OK、OK。ぜんぶ OK よ。問題ないよ」で済ませる癖に、前の世代にはメチャ厳しい評価。公平公正に行こうや」
「今後どっちがお金になるか計ってるだけよ。俺のみならず現代人は。それによってニコニコする相手とメクジラ立てる相手分けてるだけだから」
「新習い 4。あぁどこに行っても金。この世は万事金次第、かよ。いい加減飽き飽き。何か他に探そうで」
「オヤジ、金に余り愛情抱いてないから先様もオヤジにそっぽ向いてんじゃないの？」
「じゃ最後の新習い。そっぽ向かない女は好き。貧乏暮しドスコイな共白髪女。たら俺もニコ顔、自然に涌湯や」

●2022/11/9 本日のオマケ記事
2022/11/9-2
（オマケの英語教室 difficult words for translating）

英訳するのに困ってしまう日本語と言うのがいくつかあります。
今回の本編お題の「習い」もそうです。
まず日本語の特定が既に難しい気がします。
「世の習い」と言って連想される言葉は、例えば
「世の常」即ち「常態」「常識」の類がまず。
次に「習」の字に重きを置いて
手本、手習いとかが浮かんできます。
しかし、今回の場合、自分が意図したように、その両方を含んでいる場合にはどの語を充てればいいのか？まず日本語レベルから、ハタと悩んでしまいます。
で、ふと思いついたのが新入学や新入社員時代のガイダンスと言う言葉でした。
Guidance は動詞 guide（案内する）の名詞形です。
Navigate や navigation と異なるのはナビがより具体的な個別案内に対してガイドの方はもっと広い範囲を指す事の様な気がしています。
なので、今回は guide の名詞形 guidance を使って本編の英語題名を
New guidance for this world coming soon from now
とさせて戴きました
（英語題名につきましては Amazon kindle 内の海外向けにのみ使用されているようで、amazon 側から設定は求められますが国内向け kindle store では表示されない様です）
実は他にも依然笑わした際に使った題名の中に「地球」と言うのがありましたが、この役にも大変苦労致しました。
辞書を引けば the Earth がポンと出てきますが、どうもこれだと自分の感覚では「土塊（つちくれ）」を連想してしまいます。

じゃ形容詞形 global の元になっている globe ではどうかとやってみましたが、これまたペコペコ感あふれる「地球儀」を連想してしまいました。
次には this world も当ててみましたが、是だと人間界中心過ぎて他の生き物たちが切り捨てられているような気がして止めました。
そこで最後に宛がったのが this planet（この星）と言う言葉でした。
是なら全体スケールが感じられますし「地球とて数多ある中の一つの星にしか過ぎない。決して特別な存在ではないので、無茶を繰り返すと壊れてしまうぞ」という抑えや他の星との位置関係、それに地球も天然自然の法則下の内数の僕（しもべ）でしかないし地球は人間だけのものでもない、人間を含めた様々な生物が同居している処だ、という事も何となく想起されましたので、結局是を当てがいました。
と毎日あぁでもない、こぅでもないといろいろ悪戦苦闘している訳では御座いますが、恐らく他の方が傍からみたら「この爺さん、何を夜中に一人で悶えまくってんだろぅ。かなり不気味と言うか、キモイでぇ、可成り」という事になるのがオチだと心得ては、おりますんで。

本編

2022/11/9/-3

「金は天下に回すもの」

「Cash dush, rush into their pockets.金、飛び出して、人懐に、駆け込むが、日頃の常」
「何？そんな事「只今、考え中」だった訳？相変わらず…と言ってもムダだからもう言わんけど、But そんな英語、あんの？」
「今俺が作った。英語なんてこんなもんよ。適当でいいの。序だからこんなのどう？Rushed temple」
「ハイ、そのココロは？」
「駆込寺」
「確かに英語ってオヤジ向きだわ。厳密な日本語向きじゃぁない」
「いいんでないの？意思が伝わりさえすれば、それでも」
「まさか丸一日そのミョーな「英語の海賊版」聞かされるんじゃないでしょうねぇ」
「Non、No。Cash の話だ。この前ネットの投稿にこんなのあったんだ。「お金を使って減る

のは辛いけどそれが払った相手の懐に入ってその人とその家族が少しは潤うんだと思えばちょっと辛さが減りました、と思う事にします。ヤケクソで、是から」っていう投稿。若い女の子だった」
「前半建前後半本音って事？」
「ちゃう。前半の視点て面白いなぁって。俺なんぞお金持っていかれるのを食い止めるのに必死でそんな事考えもしなかったから、面白い事考えつく子だって思ったのよ」
「世の中の真ん中で押しくら饅頭してる大人より世の中の真ん中に未だ入れないで端っこの「辺境」から世の中見てる若い子の方が案外世の中全体を俯瞰する鳥の目、得易いのかもしれないね」
「お前結構今日、社会学者ね」
「このレベルで社会学者になれるんだったら今の若い子殆ど皆それで飯食ってけるよ」
「ハイハイ。でも、それだけじゃなくて他にも思った事があるんだ。それは何って聞いてくれる？親族からのお願い」
「ホントに硬い感じがする漢字使うの、好きだよねぇ。「私からのお願い」で済む処に「親族」を当てる之術」
「使わないと使用頻度の少ない日本語、忘れちゃいそうだからカビない様、時々外に引っ張り出して日干ししてんの」
「今度は昭和の原風景かよ」
「話、逸れまくってるから本題に戻すね。「それは何？」ってリクエストがあった事にして」
「オヤジの馬耳東風向かうところ敵なしだから、何でもしてチョ」
「あ、そ。じゃぁお言葉に甘えて。「金は天下の回りもの」っていう諺あるじゃない」
「ハイ、存じてます」
「あれって俺は今迄「余りアクセクしなくてもその内自然とお金の方から入ってくるから「家宝」は寝て待ってた方が良いですよ」とか「金は天からの回し「者」で天界からの「自分向けの贈物を携えた」特使」みたいに思ってたんだ。待ちの姿勢的且つ今の当店の苦境柄、自己都合希望的観測の神頼み的に」
「もっと言えば宝くじ当選的奇跡到来期待ね」
「お前、上手い事いうねぇ。は、さておき是からが本論。ズバリ「金は能動的に天下に押し出して回していかないと世の中動かず結果自分の処にも入って来ん」それは古代ギリシャの哲学者先生がのたもぅた様に「金は使わなければ入って来ない」と合致したって話」
「ハイ。当選オメデトウございます、ご店主様」

●2022/11/9-3 本日のオマケ記事
2022/11/9-3
（オマケの英語教室 running and make it running）

本編の題名を通常我が国に流布している諺であれば「金は天下の回りもの」とする処を敢えて「金は天下に回すもの」と致しました。
結論は「お金は棚ボタ的に舞い込んで来るものではなく、自分みずから天下に回さないと自分の懐には入ってきませんよ」という事です。「お金は使わなければ入ってこない」と言った古代ギリシャの哲学者の意見と同じとなりました。
そのココロは「生産者は同時に消費者でもあるので、生産者が消費者になった場合の私生活に於いては不景気な時程お金を使って天下に回さないと景気は回復しない。又消費者は同時に生産者でもありますので、給料を上げたかったら解雇や減給、遅配を避けるために値上げをしなくてはならない。と同時に経営者は値上げ分で得た利益の中から正当に従業員にその分の一部を還元しなくてはならない。詰り各々が「勇気や意思を持って出費、即ち天下にお金を回さないと景気は一向に良くならず、お金が入ってこないので、結果実入りも増えない。だからまず各々が各々の立場で自ら積極的お金を使って天下を回そうと言う、少なくとも見識と意思（できれば意志）を持たないといけないのではなかろうか」という問いかけでもありました。実はこの概念こそが「循環」と言える「経済の eco（=健全な）サイクル」でもあります。
前回の言を借りれば、上記認識に至る第一歩として、他国に遥か遅れた「金銭、金融教育（所謂、国民の金融リテラシー向上）をちゃんとしないといけませんよ」という事でもあります。
で、上記二つの諺と自前書直し諺もどきをそれぞれ英語で言うとどうなるか？
今迄にも何度か申し上げましたが、以下は敢えて中学レベルの知識のみで書いておりますことをご承知おきくださいませ。
●「金は天下の回りもの」

Money is what`s the running in this world (or under the Heaven)
●「金は天下に回すもの」
Money is what we make it running in this world (or under the Heaven)
後者には we という主格意思（志）者をいれ、使役動詞（使役とは〜させるという意味です）make を使い、目的格として it 即ち「お金」を入れました。
因みに what は疑問詞ではなく、かの有名な面白ろ命名の「処のもの」である「なんとか代名詞」で御座います。
（注）
なんとか代名詞の「なんとか」は確かに中学時代習ったのですが、完璧に忘れてしまいましたので「なんとか」と致しました。悪しからず。
（注２）
写真は頑張ろうとする人の背中を押す応援団の意味で御座います。
Photo is the cheering up team which push your back.

本編

2022/11/10-1

「サバイバル・スピリット」

「オヤジ、地球とか恐竜とか生き物とか考古学とか歴史とか好きだよねぇ。歴史は兎も角、そんなに自然科学好きだったら何で理系に進まなかったの？」
「よぅ分らん。まぁ数学いつも赤点だったのもあるが、どれも皆やりたかったから選ぶのに苦労していい加減ヤになっちゃったのかなぁ。で、思い切って全く関係ない文学部選んだ様な気もするし逆に文学だと全部包含して考えられる様な気もしたし。よく分んない」
「すっげぇ飛躍。どう繋がってるのか、全然分りましぇん。そんなので将来決める進学先、よく決めたよねぇ」
「俺って最後は何でもエイヤッなのよ。多かれ少なかれこの世は博打だと思っているから」
「その割に賭け事しないよね」
「競馬競輪パチンコ麻雀はせんけど、株で大博打は張ったわな」
「儲かったの？」
「一時可成りの額な。でも事業で裏返っちゃって今じゃ借金がそれ位あるわ」
「やべ。俺に迷惑かけないでよ」
「大丈夫。借金全て連帯保証人なしだから。いざとなりゃこの家売り飛ばすから心配すな」
「ホント遣る事、よく言えば大胆。冷静に言えば後は野となれ山となれ的、超いい加減な性格だよね」
「唯でさえ昨今の事業環境で打ちひしがれている俺によくそう次から次へと心えぐるような事いえるよね」

「何言ってんのよ。オヤジ流に客観的に評価しただけじゃないよぉ」
「う、なんか俺、育て方間違えたみたい。自然科学を愛し、文学部に進み、而してその実態は「義理人情」を天辺に置く父として」
「え、いつの間にかどさくさに紛れて「義理人情」なんつぅ任侠道単語、こっそり忍び込ませてますよねぇ」
「義理人情は任侠道、ちゃうで。是こそ将に人間科学の神髄よ。よく「義理と人情秤に掛けりゃ義理が重たい世の中だ」と言うけど、是が有名になったおかげで逆に本意が隠されちゃったのよ、多分。
思うに本意は「義」は正しい事。理は「ことわり」で一種の「法則」。いずれもアタマの産物。是が「人」と言う天秤ばかりの支柱の左側。因みに「義理人情」の真ん中の「人」は「身体」を表すと同時に天秤の支柱な訳。で右側の「情」は左のアタマの働きの義、理と釣り合いが取れる位重要な「こころ」「情動」「その人の質（たち）性分」を表している訳。詰り体を挟んで義理というアタマと情と言うこころが綱引きを繰り返しその間を前後左右に揺れながら、辛うじてバランスを保っているのが人間な訳よ。
良くも悪くも人間はこのアタマとこころと身体三つ一組でできている。どうせあるなら是を満遍なく使わん手はない。偏らず満遍なく。アタマ使ってのお勉強だけじゃダメ。体使うエクササイズだけでもダメ。情を満たそうと love ばかりでもダメ。三つを上手く絡めてフルに使い回す。それが理にかなっていれば可成りの力が出せる筈だってね」
「なんでそんな事思ったの？」
「うつ病で職失いかけた後よ。いつ又何時、職を失う羽目に陥るかもしれない。地震で家なくす可能性もなくはない。他にも不測の事態は山程ある。避けるのは困難だ。それが常だとしたら、遭遇前提で又立上がる気持ちになれる方策を考えないと、と思った。それで色々考えた末、外部権威や財に頼るのは止めようと思った。それは皆オマケのバブルみたいなもんだ。いつ弾けて消えるかしれん。そんなものに身を任せても仕方がない。そういや自分の最終的な持ち物は此のアタマとこころとこの身体だけだ。そこにある義理と人体と情をフルに使う事が考えられるベスト対策じゃないかなって。是なら外部財産を全て失っても自分が生きている限り失う事のない自分専属の持ち物だから生きてさえいれば又立ち上がれる。その為には殺生与奪の権を不測の事態が起きた時や不測の事態が起きない平時においても、つまり如何なる場合に於いても外部依存しないで済むよう、自分の気持ちの中に持たないといかん。そう思ったのよ。となれば親の役目は、子に何不自由なく暮らせるお金や土地なんかの「安心安全」を残す事が第一じゃなくて、それが全部なくなっても再度又立ち上がろうっていう気になれる「サバイバル・スピリット」を抱かせる事が親の本当の役割だと、同時に思ったのよ。そのためなら「子に愛される親」をすてて「親なんて子に嫌われてなんぼのもんやで」と思う事にしたのよね。要するに嫌われる覚悟を決めた訳よ。それに第一なまじ実物財産を残すと子の甘えや依存、それに子供同士の不仲や疎遠の元にもなるしね」
「へぇ、それで「敢えて」財産ゼロになっているのかぁ。だったらマイナスじゃ拙いんじゃ

ないの？今後少なくともゼロに戻しとかないと話の辻褄合わなくなるよね。今言った手前、親としてはゼロにして置かないと、いけないと思わない？」
「「子に持たせ、己も持つべき、サバイバル・スピリット」っていう極意伝授したんだから、そこのところは少しオマケしてくんない？ムスコさん。あれ、何無視してんのよ、親を。ねぇ、ムスコさんてばぁ、聞いてんの？ムスコさん!! 今月は「今の処」初めての「たっての」お願いだって言ってるでしょうに」

●2022/11/9-3 本日のオマケ記事
●別に意図した訳でないのですが、今回作物を書き始めてみました処、よく分かりませんが自分のバイオリズムか何かのせいで、内容が、今迄自分が考えてきたことのまとめになり始めたので、一気に書いてしまいました。
処が書き終わってみてハタと気付いたのですが、字数がお約束の原稿用紙３枚以内を大幅に超過して凡そ５枚二千字くらいになっておりました。しかしながらお約束はお約束ですのであれこれ算段して何度か書き縮めようと致しましたが叶いませんでした。
そこで屁理屈ながら、たまたま今回が当シリーズ百本目になりましたので急遽
「原稿用紙３枚以内シリーズ百本目記念版」と銘打ち、今回のみ「まとめ優先」で原稿用紙５枚物と致す事に致しました。
次回作からは又原稿用紙３枚以内に戻しますので、今回ばかりは皆様方にお許しいただきたく存じます。

●2022/11/10-2
（オマケの英語教室 survival）

Survival は邦語で「生き残り」とかカタカナで「サバイバル」と訳されます。
起業などで「サバイバル戦略」と言えば生存シェア何位までに留まれるかで業界で生き残れるか否かが決まりますので、何としてでもその範囲内にとどまる為の戦略をそう呼んだり致しておりました。昔いて会社の企画部では。
他には vital（バイタル）「生命の」とか revival（リバイバル）「復活」とかがございます。
処が我が国では上記の場合では vi を「バイ」と発音しますが、何故か vitamin や virus を「バイタミン」「バイラス」と発音せずに「ビタミン」「ビールス（ウィルス）」と発音いたしております。
それはさて置き、survival の内 sur は「超」「の上」「の表面」を表しております。又 val は各語の動詞形である revive にせよ survive にせよ語幹 vive の名詞形で「生命」を表しております。

なので、survival の原義は「命の上（に出る）」とか「命を超えて」とかになりますが、其れではイマイチ意味がよく分かりません。
となるといつものようにその反語を考えてみるしかなくなります。
そこで考えましたのが「命の上（に出る）」「命を超えて」ではなく反語を加えて「命の（危険が迫る）その上（に出る）」「命の（危険が迫る）それを超えて」「生き残る」その名詞形が「生き残り」であるのではなかろうかと、今回は推測いたしました。
Survival is the way of breaking through critical situations.
（サバイバルとは危機的状況を切り抜ける術の事でございます）

本編

2022/11/10-4

「あの手この手、で」

「人に優しく、生き物にも優しくしたら数はどんどん増える。
が、地球には限りがあるから生存定員は決まっている。要するに入替え制だ。それを「淘汰」と言っている。この淘汰をクリアーする事を「適者生存」と言うが、しかしそれを何とか切り抜けたとしても地球とて単なる一惑星にしか過ぎないから星の寿命によっていつかは消える事になる。さて、どうしましょう」
「メチャ気宇壮大な話だね。でもそんな先の、先の、その又先の、其れこそ「宇宙の彼方の空遠く幸い住むと人の言う」なんて事は俺には関係ないし、又そんな幸せなんてありっこない暗ぁい将来の行く末話をしても意味ないんじゃないの？だって其れとは関係なくオヤジの店、その前に間違いなく完璧に、存在していた事の痕跡すら確認出来ない位跡形もなく消えてるだろうし。その気宇壮大さと比べたらスケールの超ちぃちゃな人間界の一不景気の如きで既に地球消滅の何億年も前に、さ」
「お前、なんか人をいたぶる事に快感覚えるミョーな体質に変わり始めてなぁい？」
「まぁね。俺もストレス溜まってるのよ。お金とか人間関係とか色々雑多、種々様々で。それで手一杯なんだから、これ以上そんな先の俺なんかに全然関係ない事で気を患わせないでよね。どうせその頃俺なんか、生きてる訳ないんだから、先々どうなろうと、悪いけど「知ったこっちゃ、ねぇ」話でしょ？」
「そういわれれば実も蓋もないが、この話を聞いて、マジ狼狽える奴も世の中には居ると思

うよ」
「そんな後世迄心配する様な心の広い人なんて居るの？今どき」
「居る」
「誰？」
「後世に名を残したい方々」
「なんで？」
「だって後世があると思うから必死になって名作書こうとしたり戦争迄して領土拡げようとしたりしている訳でしょ？詰り後世がある事が前提で後世そのものがある意味最終目的な訳でしょ？処が名を残す為に夜を日に次いで努力しても極悪非道のそしりを免れない様な事をして領土を拡大しても名を残すべき歴史そのものやその歴史を歴史だと認識する存在が居なくなっていれば「必死マメタン」で頑張ってる意味なくなるでしょう。「俺は一体何の為にこんな事やっているんだ」ってなって「大切な人生、幻想に踊らされて無駄遣いしてしまった。是ならいっそ平々凡々「フツー人」でこの世を楽しんだ方が余程ましだった」てな事にはしたくないだろうからその対策をも含めてこの話には重大な関心を寄せるんじゃないかなって」
「でも今は今で頭の中一杯だろうから其処迄気が回んないんじゃない？それに親分にやる気なくされても困る取り巻き連中がその情報耳に入れない様にするだろうし」
「でも酷い事している方々の耳に入れる事が出来たら案外戦争が減るかもよ」
「なんか落語の「風が吹けば桶屋が儲かる」式な話の様な気がするんだけど」
「けどもしないよりした方がマシで先ずはあの手この手よ。其れが我々一般ピーポーの特権なのよ」

（注）一般ピーポーとは「名もなき人々」の意味です。「有名」だと却って人の目を気にする故、金縛り状態になり勝ちでしたい事も出来ず「あの手この手」のお試しが出来にくいという逆説的な意味を表しております。「しないよりした方がマシ」have done is better than never とは言われますが、意外にも有名な方ほど、それすらも滞り勝ちで「するよりしない方が無難」になることが多くなっており、結局思い切ったことが出来ない場合が多いのです。ですから、むしろ「無名な人々」の方がそれを断行できる確率が高く、その事を「特権（を持っている）」と表した訳で御座います。

●2022/11/10-4 本日のオマケ記事
2022/11/10-5
（オマケの英語教室 this way, that way）

日本語で「あの手この手」は「あの手この手（を使って）」ですが、英語でそれを何と言うのか、実は自分は知りません。
しかし、ジェスチャーを付けながら
This way（あっち行ってホイ、ポーズ）that way（こっち行ってホイ、ポーズ）
And way, way, way taking でも
This hand using（右腕ヨイショポーズ） another hand using（左腕ヨイショポーズ）
Next, next, next でも通じる気がします。
要するに個々の主役は言葉ではなくジェスチャーの方です。
又、way, way, way, way とか next, next, next とか外人さんには耳なれない表現でしょうが、あまり見たことのない珍しい(ジェスチャーも含めた)表現なので却って面白がられるかもしれません。

語学がコミュニケーションと、更にはパフォーマンスのお披露目舞台（ちょっとした private conte show）にもなるという認識になった途端、其れこそあの手この手が使えるようになりますので、ぜひ皆さまお試しくださいませ。

（注）特に上記の way, way, way, way は昔流行った小松まさおの電線音頭「おっとっとっと」に掛けて 4 テンポ取ることをお勧めいたします。（その世代の方は）

（著者プロフィール）
うときゅう いっき
本名 宇都宮一貴（うつのみや かずたか）
一九五三年東京生まれ。
早稲田大学第一文学部露文学科を二回留年の後、卒業。
国内電機メーカー家電製品商品企画部に二十年間勤務。同子会社経理部等に十六年間勤務。
四十歳から五十二歳まで十二年間うつ病を罹患。
左遷、リストラ、降格、離婚、家族崩壊等を経験。
定年後、株式会社うとQを設立。
現在主業はネパールカリー屋。
趣味は観察すること、考えること、書くこと、盗撮はしないスマホ・カメラの四つのｋ。
著者名は苗字、宇都宮一貴の音読みで、中学校時代の仇名。
宇宙の「う」
東京都の「と」
宮殿の「きゅう」
数字の「いち」を詰まり音便で「いっ」
貴族の「き」
で、うときゅういっき　となります。
漢字表記にしますと、かなり御大層な人物に見え、実態に全くそぐっておりませんので、誤解を招かぬよう音読みひらがなで表記しております。
ホームページ：http://utokyu.co.jp

（出版情報）
著　者 うときゅういっき
発行人 宇都宮一貴
発行所：株式会社うとQナマステ別館堂出版部
〒二一五‐〇〇一八
神奈川県川崎市麻生区王禅寺東５丁目３４番７号
電話：〇四四‐九八九‐一六九八
発　売 株式会社 うとQナマステ別館堂出版部
編　輯 しばらくの期間「ナマステ別館堂出版部」
カバーデザイン＆DTP 製作 当面の間「ナマステ別館堂出版部」及び「ナレッジフォレスト 大竹鉄哉」
©Kazutaka Utsunomiya uploaded in japan 2020
発行日：二〇二三年五月二十五日 初版発行
本書の一部または全部について、著作権上、著作権者の承認を得ずに、無断で複写、

複製することは禁じられています。

（その他著書）
●多数
●尚、掲載写真は全て google 画像サイトの著作権フリーのものをダウンロードして使用しております。当社には著作権、版権は全くない事を明記させて戴きます。